明治三十九年八月十九日第三種郵便物認可

京城日報

定價 一ヶ月 前金 ……

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 大原利武
印刷人 小川三之介
(振替京城三〇〇)

京城日報 紀元節祝辭

雲に聳ゆる高千穗の、高根おろしに草も木も、なびきふしけむ大御代を、仰ぎ見るこそ尊けれ。是れ我が紀元節を祝する國民唱歌なり。實に天壤無窮の寶祚を戴き、世界に冠絕せる國體の裡に棲息する吾等臣民は、二千五百八十一年の悠遠なる上代を仰ぎ、肅然として皇謨皇猷の雄大宏遠を感じ、今さらながら吾等が生を斯邦に享けたるを悅ばざるを得ず。

吾等は今日の佳辰を祝するに當り、橿原奠都の大詔を奉讀し、皇祖神武天皇肇國の鴻業を、仰ぎまつらむことを欲す。謹みて史を按ずるに、己未の年、三月令を下して宣りたまはく

自我東征、於茲六年矣、頼以皇天之威、凶徒就戮、雖邊土未清、餘妖尚梗、而中州之地、無復風塵、誠宜恢廓皇都、規摹大壯、而今運屬此屯蒙、民心朴素、巢棲穴住、習俗惟常、夫大人立制、義必隨時、苟有利民、何妨聖造、且當披拂山林、經營宮室、而恭臨寶位、以鎭元々、上則答乾靈授國之德、下則弘皇孫養正之心、然後兼六合以開都、掩八紘而爲宇、不亦可乎、觀夫畝傍山東南橿原地者、蓋國之墺區乎、

と、是月、卽ち有司に命じて帝宅を經始すとあり。王道蕩々、寔に四海に光被すといふべし。爾來列聖相繼ぎ、明治天皇寶祚を踐みたまふに及び、殆ど此の雄大なる理想を完成したまひ、更に今上陛下の御代に至り、世界五强の隨一として、東洋に盤據し、國運の隆昌なる、四方萬國の欽仰せざるものなきを見る。國民の欣躍、何物か之に如かむや。吾等臣民、子々孫々、永く此の大詔を奉體し、惟忠惟孝、皇謨の恢宏に向つて、益、微衷を致す所なかるべからず。之を今日の祝辭と爲す。

朝鮮は日本統治の下に榮えつゝあり (三)

エー・アンダウッド
(シャトル・タイムスより譯載)

地方救濟組織す

村落の多くは地方救濟組合を作るやうに勸められて其れに對し約二百萬圓を朝鮮銀行が低利を以て貸出すことゝなり其の金は食物の購入に用ひられた、そして現在の支那饑饉に時に目立つてゐる、日本人は節儉の心を持つてゐる、彼は食物を買はんが爲に世界の市場へ出掛けたりしない、決してそんなことはしない、彼は滿洲にヒヨロ〳〵出掛て行つて其處で彼は日本人農夫から買ひ求め日本の鐵道が其れを運んで來れると云ふ有樣である、然し其れは兎も角として目前の事實は六十年以來朝鮮を見舞つた最大の旱魃の間に飢餓の爲に一人も死んだものが無かつたと云ふ事である。以前には旱魃とか洪水とかの天災が起る時には數千の人々が止むなく死ぬるものであると云ふ事は當り前の事として考へられてゐたのである。官憲の數字は面倒だから調ないとしても此處に過去十年に日本が朝鮮を司配した結果のいくらかを擧げて見る。

再鑛業振興に就て (二)

工程增進と操業改善

久原鑛業會社技師 尾山直治

明治四十二年峯の澤鑛山に於て同法を採用し、且つ臨機應變に特殊の獎勵法を併用したるに當時隣山の舊式なる請負法に比し著しく工程を高め得たるが同時に鑛夫の選擇に重きを置けり

第一 技倆
第二 健康狀態
第三 性質

に付き嚴密なる試驗をなし其優秀なる者のみを採用せり。尚は技術の向上を謀る爲に種々の獎勵法を用ひ、或は競技會を開き其技術の進退に應じて、鑛夫の等級昇降を行へり其事業に及ぼす効果顯著なるを認められたり。

鑛夫の惡戲遊惰は唯に山內の風紀を亂すのみならず。引ひて事業の工程に著しく影響の及ぼすものなるが故に、賭博其他の惡戲を嚴禁し、新に此れ等に代るべき娛樂を與へたり。

之を要するに朝鮮の工程は現時に於て極めて低き故に、將來之を約三倍まで增進することを得べしと信ず。而して之が實現の遲速は一に當事者努力の如何に依ること勿論なりとす

(二)操業法改善

例一、大正二年の峰の澤鑛山坑外係の經費は一ヶ月約三千圓なりしに經費の節減と廢物利用及鑛多操業の改善に依つて同係內丈けにて毎月約金八千圓の利益を生ずるに至れり。

以上は二三の實例を摘記したるに過ぎざれども、元來事業なるものは其進步改良に絕ず努力する時は、殆ど無限に改良發展の曙光を認め得るものなり。

偖て然らば朝鮮の普通金山として今後取るべき法は如何と云ふに工程の增進に就ては

一、鑛夫採用に當り技術を試驗し其優秀なるものを採るべし
二、採用後と雖も其技術の向上を期せんが爲めに諸種の獎勵法を講じ、且つ技術の進退に應じ等級改正を實行する事

又事業の方針に就ては

一、根本的新方法を發見し、如何にせば此山を蘇生せしめ得るか又は經營し得るかを研究すべし

例、余が是迄出會したる金山中上部は掘盡され、低部は第二期事業計畫を立てつゝありし山二三ありたり。此等の金山は概して細脈故、低部作業は坑內湧水物共に深さの度を加へ捲揚排水に充費を多く從つて勞多くして利益薄少なること明かなり。予は此の金山に就て仔細に研究を試みたる結果、地平線上に於て尚ほ多大の鑛量を殘有し(卽掘跡は地表線に沿へる部分に限られ)第二期計畫は此地平線上に於て之をなし、多額の利益を占め得べきことを認められたり。

雜誌抄

弱い子供と母體の關係

近來は弱い子供が多く生れる傾向があるのみならず死產が事實上多くなつて來た、特に工場の所在地方が最も甚だしいので墮胎する爲ではなからうかとも思はれる位である。小兒科醫並に產婆などの說を綜合して考へて見ると、健康な孩兒は健康な母體から生れるといふことが確實となるのである。毎年東京で開かれる孩兒展覽會の當選者の母親を調べて見るとその體重が平均十四貫以上であり又一、二等當選者の母親は何れも十六貫以上の體量を持つて居る人のみである。然れば母體の健康增進が向上しない以上は強壯なる孩兒を得ることは出來ぬ。(衞生會雜誌)

胃患者と水

慢性の胃疾患ある人は藥性的療法よりも寧ろ理學的療法を行ふことが必要である簡易な方法は入浴中に適當なる水をコップに一杯飲用するにある一個胃潰瘍を經驗した人に是を勸めて奏功した例もあれば慢性の方は行せられん事を希望する元來水を飲み付ける習慣を付けて置く事は保健上の一要件なりと心得可きである(市町村雜誌)

測量家養成講習錄
最新式通信教授にて斯學の一般を授け測量技師養成速成三ヶ月修了の講習生を募集す
申込次第詳細規則書無代進呈
東京市京橋區南傳馬町 通信工手學校

專賣特許 新案品
發明家養成講義錄
裸一貫から巨萬の富を造るは發明家なるに限る本校は國家的記念事業として設立し通信教授にて短期間に大發明家を養成す目下講習生大募集中に付機會を逸せず速に入學して成功の第一人者たれ 教授細目及校則ハガキ申込次第進呈
東京市小石川東青柳町一三 大日本發明通信學校

生徒募集
工業專門學校第一學年各科ヲ通シ 朝鮮人約五〇名 內地人約二五名
工業傳習所第一學年各科ヲ通シ 朝鮮人約六〇名 內地人約三〇名
入學試驗期日 本年三月二十八日ヨリ同三十一日ニ至ル四日間
詳細ハ一月三十一日乃至二月一日ノ朝鮮總督府官報參照或ハ直接敎務係ニ照會セラルヘシ
大正十年二月 京城工業專門學校

最近版
朝鮮 中學校 高等普通學校 商業學校 女學校 入學試驗問題集
大正四年より大正九年に至る中等學校入學者の指針たる必讀の書
定價九十錢 送料八錢
京城本町 振京二一〇 ウツボヤ書店 電話一五二七

生徒募集 京都女子高等專門學校
本科(家政科、國文科、英文科)高等女學校卒業生入學
別科 實科高等女學校其他女學校卒業生入學
■入學願書四月七日限 ●入學者心得郵券二錢添へ申込アレ
大正九年四月創立 京都市東山七條

新案 實用 **自製繩機** 半價提供
三つ撚でも二つ撚でも自在に出來ます 此機械が廣告の爲め郡二名に半價で提供 賃取引もす
同轉毛切附五圓臺から捲掛繩迄數十種
特約店へ 大特典營業案內送料來次第 大阪大正橋西 帝農社

赤い鳥 三月號
純藝術的な童話雜誌 學校家庭用の好讀物
▲お月様……北原白秋
▲祖母……楠山正雄
▲祖母と鵜……西條八十
▲不思議な石……水島爾保布
▲グリュック(戲曲)……久保田万太郎
▲七重の戶(劇曲)……淸水良雄
▲ちん〳〵千鳥(曲譜)……成田爲三
▲髑髏の島……丹野てい子
▲王樣狐……廣津和郎
▲栗拾ひ……中村星湖
▲人喰人……鈴木三重吉
壹册參拾錢 半年分壹圓八拾錢
東京市外高田町目白 振替東京九四壹六 赤い鳥社

商業登記
商號設定、商號高麗蔘商會、營業ノ種類人蔘販賣、營業所開城郡松都面南本町百五拾六番地、商號使用者ノ氏名住所同郡同面池町參百參拾五番地姜泰元
右大正拾年貳月七日登記
京城地方法院開城支廳

競爭入札 **購買** 朝鮮總督府遞信局
一、通信ノ栞五萬部
詳細二月十二日ノ本府官報ニ在リ

支那外交秘史
支 李定夷著 日 宮崎湖處子譯
支那外交史たる外國人の筆に成るものは所謂充棟汗牛も啻ならず雖も支那人の文に成るものは寥々數ふるに足らず而も記錄の正確を得觀察の要を得たるもの……獨り此書は問題の胚胎する所を明にし交涉の經過を敍し事件の結果を說き簡にして要を得たるもの……識者の必讀を要す
四六判三百六十頁 總クロース上製 定價金二圓 送料八錢
發兌 東京市神田區三崎町三ノ一 株式會社世界公論社 振替東京二六八六
發賣 京城本町 大阪屋號 振替京城一二七五

時計界の惰眠を破る!
◎空前絕後の大廉賣
◎好期逸する勿れ 時は今!
▲十八金十六形梨地專賣側瑞西製石入アンクル 金貳拾八圓
▲銀側十六形專賣アンクル石入 金拾壹圓也
責任販賣、信用本位、親切主義を店の信條として營業振りの堅實を賣りたる當時計店の特別大廉賣 在庫品僅かに各三百個限 切迫なら內今直ぐ御注文あれ 代金引換小包送料實費 御注文は代金引換にて急送す 品不向の節は返金交換
東京市本所區柳島元町 振替口座東京五參壹八 電話本所二五七八番
松盛堂時計店

移轉廣告
古河商事株式會社京城出張所 電話五八九番
大正十年一月十日
移轉先 京城府黃金町二丁目百九拾五番地 東拓京城支店建物階上

朝鮮 大正十年二月號
一部定價廿五錢(郵稅金貳錢) 廣告料一頁金七圓 發賣 朝鮮內各地書店
○口繪 御題『社頭の曉』(三色版) 各道第一部長會議列席者 朝鮮總督府內地視察團一行
○大正十年を迎へて……總督
○朝鮮の統治……水野政務總監
○道第一部長に對して……水野政務總監
○協議會員に望む……水野政務總監
○旱害救濟の經過……大塚內務局長
○朝鮮の水產に就て……西村殖產局長
○荒廢山野の復舊に就て……鈴木總督府技師
○各府縣林務主任官會議の感想……掛場道技師
○膨脹の日本……アーサー、バラード
○アルゼリヤの植民政策(一)……秋山總督府技師
○內地視察と其の感想
○北鮮紀行(一)……樂海生
○酉の年に因める朝鮮地名其他の文獻……加藤囑託
○天女の羽衣……編輯學人
○攷事雜纂
○詞壇
○情報委員會及情報係○道水產主任技術官會議○水產製品檢查員會議○第三回判任官見習講習會狀況○西鮮殖產鐵道の開通○獨逸の消息○上海市場の近況○一九一九年に於ける世界の金產額○露國の造林事業○警察隊の賊匪掃蕩○新著圖書
○附錄 表△汽車時刻表△汽車賃金表△朝鮮私設鐵道營業哩程表△自動車運轉線路及賃金表 西鮮私設鐵道列車時刻表

好結果ヲ一!
大正十年春季
農家便覽 進呈
本便覽には精良種子、苗木、農具、肥料、園藝用具、家畜、害蟲驅除劑其他農藝業に必要品を掲げ多數の圖を挿入說明と代價を附しあり

東京興農園

四十四版發賣 評判
澁川玄耳先生著 中村不折 小杉未醒 北澤樂天 畫伯挿入 ポケット版
日本と世界見物
◆定價金貳圓四十錢 ◆書留送料金十五錢
本書は一世の文豪故夏目漱石先生が自ら兄弟分を以て許せし澁川玄耳先生が出世作にして發行以來……讀書界に歡迎せらるゝ……

名著中の名著 國寶的文學!!
加藤美侖先生著
乃ち千古不滅の名著として天下に喧傳せらる 教科書以上の經典 國寶的文學
▲定價金壹圓八拾錢

五版發賣
卓上閑談 演說訓話 知識開發の絕好種本!
紳士社交 談話の種 **珍しい話と新しい知識**
好評嘖々忽十六版
▲定價壹圓六拾錢

類書中の白眉
大日本雄辯會研究社編
祝賀 祭弔 **式辭答辭挨拶**
嶄然頭角を拔き最も實用的の書として社會の各方面から歡迎さる 模範的 名士の五分間卓上演說を增補 自由自在に出來ることを確證する
加藤美侖先生著 ▲定價金一圓八十錢

十八版發賣
比較研究 **廿大強健法**
◇各種強健法の眞髓を網羅せる一書千金の健康寶典!!
本書の內容 岡田式靜坐法 二木式腹式呼吸法 寺田式息心調和法 永井式呼吸法 高野式冷水摩擦法 ▲川合式強健術 ▲石塚式食養法 ▲岩佐式深呼吸法 ▲肺結核と強壯法 ▲日光浴と冷水浴 ▲斷食療法 ▲深呼吸法 ▲腦力增進法 ▲消化器強壯法 ▲皮膚の強壯法 ▲鼻の強壯法
村井弦齋先生校閱 高橋潤二先生著
▲定價金壹圓八拾錢

三版發賣
滋養經濟 **安全食療法**
◇保健食物の知識と諸病一切の無藥療養秘法を滿載す!!
救世の大福音
醫學博士 吉永福太郎先生著
▲定價金壹圓五拾錢

三版發賣
肺病程治り易い病氣はない 肺病程豫防し易い病氣はない
肺病研究の權威福永博士が
最新の醫學と實驗 **最新肺病療法**
謹告
發兌 東京神田錦町 誠文堂

第四十四回帝國議會

貴族院本會議 昇格問題上程 (九日)

九日上院は學校昇格問題が人氣を呼び傍聽席は大入なり午前十時五十分振鈴なり轉くや珍しくも德川議長は三葉葵の黑紋附を着し議長席に納まり返る先づ型の如く諸般の報告あり近藤廉平男の船舶輸戰、吃水線法案委員辭任を承認し

日程第一、鍋島桂次郎君辭暇の件を許可し

日程第二、函館控訴院移轉に關する法律案（政府提出衆議院送附第一讀會）

同第三、大正二年法律第九號中改正法律案（同上）

二案一括

大木法相 登壇說明し通常議に依り同成會の西久保弘道氏登壇質問し之に對し大木法相の答辯あり各案とも委員附託

日程第四高等教育機關に關する建議案

現下學校に關する問題は事態漸く紛糾を加へんとす政府は宜しく之に關する調査を遂げ速かに適當の處置をとらん事を望む

先づ研究會の

前田利定子 過日來昇格問題に對する諸員と首相との問答を聽取し當局者は以て滿足する處なるも學校當局者は以て滿足し居らず昇格問題は學校の發學面目に關する問題なり文相に裏切らしたりとて大いに昂憤せる學校あり斯くの如きは學生の思想を惡化し世道人心に及ぼす所の惡影響寒心に堪へざるなり學生は校長を疑ひ校長は文部大臣を疑ふに至れば教育の權威何處に在りや道德の頽廢之より甚だしきは莫し之本案を提出する所以なり學校昇格問題に對する政府の行動は勿論若しき紛糾を生ぜしめたる根本は當局の立場にあらん然れども問題を干知する所にあらずとは言はせず當局は宜しく斷然たる處置をとるを要す文相の云ふ事實ならば學校關係者は讒言を弄するものなり又學校關係の言ふ事實ならば文部大臣は食言者なり一方は一國の大臣一方は賊手たる名士なり文相は昇格を約束せずと云ふも學校當局者に對し何事か聲明したる所あるに相違なからん此問題に對し文相は責任をおうて桂冠すべしとは予は註文せず政府の信ずる所により適當の處置を執るべし我々は原內閣を彈劾するものにあらず切腹せよと斷定するものにあらず適當なる處置をとり其責任を全うすれば足る

山脇玄氏 政府は宜しく具體的誠意を示されたし昇格せしむるか然らざるか總理大臣の言明を聞かば足る

之に對し前田子答ふる所あり次いで議題により

阪谷芳郎男 本案は適當なる處置により學校問題の解決を求むるものなり我々は文相に對して會て九寸五分を突き附くるものにあらず又自決を促すものにも非ず唯宜しく文相の賢明なる進退を求めんとすことに彈劾演說をなす斯くて正午休憩午後一時三十五分再開報告を略し午前の議事を繼續す茶話會の

江木千之氏 反對を述ぶるに先だち提案理由を補足せん余の判斷によれば本案は高等教育機關を改善せよと云ふものか或は又十年紛糾解決にあるか又其目的學校の度に昇格せしむる學校に對し文部當局の滿足なる同意を得んとするにあるか併し乍ら今日に於て高等教育機關の變更を決定することは不可能なり況んや追加豫算を提出して昇格を決行するをや然れば建議案の趣旨如何當局の言明を取消さしむるにあるかと云ふに之赤蔣肯には表示せず然れども之大體に於て前田子爵の說明によれば文相の大失態なるは掩ふべからず相當の處置と云へば種々の形に現る、が事態は頗る重大なりと認むとて思想問題社會問題より氏獨特の意見を叙し歐洲大戰より貿易問題に入り結局昇格問題に關し當局大臣の考慮を望むと述べて降壇す次に公正會の

仲小路廉氏 余は本案に贊成するものなり（こと前提し）本案の趣旨は極めて簡單なるが其趣旨は極めて緊切なるものあり本問題の結果如何に依りては貴族院の面目を潰す事となれば當局は宜しく速かに適當の處置をとらん事を望む

原首相 唯今の御說明によれば本問題に就て政府が適當と認むる處置をとれとの趣旨に近きもの、如し政府は此事に關し先般來數次の御質問に答へたる處なるが勿論適當の處置をとるに躊躇せず併し乍ら辯解を致すには非ざるも事實に就て申せば學校の紛糾は文部當局の言動により誘起せるが如く新聞に傳へらるが事實は然らず卽ち文部當局の言明より來れるものにあらず文部當局が內意を漏らしたるは僅三四の學校に過ぎず一步を讓り文相が如何に陳べたるにせよ昇格に就ては閣議の決定を求めざるべからず又豫算の關係もあり教育會の關係もありて十分に研究せざれば成立するものにあらず併し學校問題に關し紛糾を來せるは甚だ遺憾なり政府は十分に考慮し相當の手段を講ずべしと答辯し議長本案贊成者の起立を求め起立多數

德川議長 本案贊成者過半數と認むと宣し午後二時三十分散會せり（東京電報）

昇格問題と下院各派の觀測

九日貴族院に於て成立を見たる昇格問題建議案に對する衆議院各派の觀測及政府筋の觀測左の如し

政友會 にては首相の答辯通り學校騷動は文相の責任にあらず從つて處決などは以ての外なり貴族院全體の意向は前田子の言へるが如く決して彈劾案にあらず適當の處置をとれと云ふに在りて十分政府の意を諒解せるもの、如しと揚言し居るも研究會の態度が意外に惡化し居れるは承認し居れり次で反政府黨なる

憲政會 を訪へば本日の貴族院に於ける形勢はこれ純然たる彈劾案なり本建議案に對し多數を以て可決せるは云ふ迄もなく文相の辭職を求むるものにして閣員全體の責任問題を惹起すべし若し政府にして文相を辭職せしむるにあらざれば貴族院は內閣の責任問題として本問題は益〻圓滑を缺く可く本問題は貴族院に於る政府の一大暗礁なり

國民黨 にては本問題が單なる建議案に終らざるは事實なりとなし居れり卽ち研究會は該建議案に依り政府を救はんとする意向ありしも四圍の事情は却て之を彈劾案化せしめたり然れども本問題に關し文相を辭職せしむれば引いて內閣全體の責任問題を惹起するを以て結局議會終了前因果を含めて文相を辭職せしむるの外策無けん次いで豪傑なる

無所屬俱樂部 を訪へば曰く政府は直に中橋文相を辭職せしむる如き事はなさゞるべし此問題と關聯しても田中陸相の昂節問題と同樣の取扱ひをなすべしと

政府筋 建議案は要するに建議案のみ政府は本問題に對し適當の善後策をこらんのみこは上院の十分に諒解せる所也

尾崎行雄氏提出の軍備制限案 十日の本會議に上程

尾崎行雄氏提出の軍備制限に關する決議案は十日衆議院本會議に上程することゝなりたるが同案は先づ尾崎氏の說明あり是に對し政友會の津野田是重氏反對演說を爲し更に島田氏及び田川氏の贊成演說あり更に亦反對演說ありたる後採決に入り卽決否決さるゝこととなりたり（東京電報）

中橋文相辭せん 貴族院の形勢險惡

中橋文相が原首相に辭意を洩らしたといふが原首相は其の前途に就て無事に切抜け得べしと心得樂觀して中橋文相の辭意を抑ゑて居た然るに九日の貴族院の形勢は口でこそ表面露骨には表示しなかつたが實は斷乎たる文相彈劾にして中橋文相をして益〻辭意を固めしむるに至れるもの、如く隨つて是迄は原首相が中橋文相の辭意を宥めて是を抑ゑたが今事愛に至つては最早抑止する能はざるを知り此際文相一人をして責任を負はしめ政局切抜け策を講ずることゝなるべしと報ぜられたるが文相一人を犧牲に供して果して今後の陣容を立直し得るや此の點最も注目を要すべし尙中橋文相の辭職は直ちに實現するか或は貴族院に豫め內意を洩らし議會終了後に於て是を決行すべきや其の時機手續等は未だ判明せず

聯合國賠償會議に獨代表派遣 倫敦八日發電

獨逸政府は聯合國の招待に應じて三月一日倫敦に開催さる、賠償會議に代表者を派遣する事となれり尙獨乙政府は右承諾の通告中には賠償會議には獨乙の對案動議をも含むものと承知する旨を附言せり

平壤の博徒狩

平壤警察署に於ては舊臘以來一月に渡り市內にかける賭博檢擧を行ひたるが檢擧せられたるも [illegible] 警署に於てこれが應酬に困じ果てたる模樣であつたが齋藤署長は今回の檢擧は [illegible] く平壤地方法院檢事局へ送つた 平壤府壽町賭博 [illegible] 平壤府幸町料理業石塚虎吉(五六)同町大工業森本常吉(四八)同町菓子商福島町一(四三)同南門町 [illegible] 料理人金谷萬三郎(四九)平安南道大同郡江西面將近里大工磯岡虎松(四四)平壤府南山町五番地雜貨商武島德熊(四〇)同當町一三番地宿屋業金尾文吉(五七)同貞町石工吉村光助(二七) [illegible] 子商賃原鐵次郎氏(七)以上の者等の賭博カブと稱するものにして下江夫婦は房屋を貸 [illegible] 取つたものだと云ふ

不逞の穀物商

八日午前三時平安北道碧潼警察署巡查部長以下三名は碧潼郡 [illegible] 北面地下洞にて獨立團通信 [illegible] ス式拳銃一同彈丸十三、不穩文書多數を押收せり [illegible] 排日思想の所有者で朝鮮獨立を [illegible] 企八年九月中上海に渡來し假政府首腦部と會見し軍資金募集 [illegible] し醵重取締の未制令違犯として [illegible] 十日檢事局へ送致せられたり

天氣豫報

[illegible] 面を占めそれより南東に向つて漸減しつゝあるもその傾斜緩なり十一日京城の天氣は概ね晴天なるも一時曇るべし

ライン河航行條約 倫敦九日發電

海牙來電、對獨講和條約中ライン河航行に關する條項につき聯合國と和蘭政府との間に完全なる協定成立し目下之に關する協約起草中なる旨公表されたり

墨大統領の演說 墨西哥市八日發電

墨西哥大統領オブレゴン氏は八日議會に於て石油問題の卽時解決を勸告し石油問題は重大なる國際問題たらんとしつゝありと言ひ各國の利害の紛糾は墨西哥の存立を危殆ならしむべしと言明せり

米陸軍と徵兵 華盛頓八日發電

陸軍卿ベーカー氏は陸軍徵兵事業を絕對に中止すべしとの一般命令を發したり此の命令は上下兩院が大統領の拒否權を打消して徵募兵員を十七萬五千名に減ぜんとする決議案を再び可決したるに基づきて發せられたるものなり現兵員を除隊せしむる自然的手續に依れば常備軍を議會の決定したる員數迄減ずるには今後九ケ月の日數を要すべしと傳へらる

國際軍の通過拒絕 巴里四日發電

國際聯盟の最高幹部等は瑞西聯邦政府が波蘭領リツアニアの人民投票を監督のためヴイルナに赴かんとする國際軍の瑞西通過を許可せざる決議をなせりとの通告に接し一驚を喫し居れり曰く瑞西政府は英佛軍の瑞西通過を不必要と認めたり國際聯盟事務局總長は此決定に抗議すと

獨人財產差押權拋棄 倫敦八日發電

半官報の報ずる所に依れば白國は英國と同樣獨逸が賠償金支拂不履行の場合獨逸人の財產を差押ふる權利を拋棄せり

外交委員等死刑 倫敦七日發電

コペンハーゲンよりの報道によれば過激派新聞イズヴエスチア紙は曰く西伯利に於ける反過激派委員は日本と內通し居たりとの廉を以てトムスクの過激派裁判所に於て公判に付せられ又極東共和國の外交委員長及他の委員五名は死刑の宣告を受けたり

廣東軍梧州を衝く 廣東九日發電

廣東軍一部と民軍は梧州を突き同方面にて小戰を開始す

中村宮相の老公訪問 重要事項報告

中村宮相は九日午前八時三十分東京驛發汽車にて小田原に趣き古稀庵に靜養中なる山縣老公を訪問し宮中に關する重要事項を報告し種々協議する所ありたるが宮相は歸京後永田町の官邸に田中陸相を訪問したり（東京電報）

村田少將薨去

危篤なりし村田少將は九日夜六時半遂に薨去せり篤の報 天聽に達し位一級を被進從二位に叙せられたり（東京電報）

一月中朝鮮貿易概況 輸移出減少

本月の貿易額は輸移出一千六百四十九萬餘圓輸移入二千二百八十萬餘圓合計三千九百二十九萬餘圓で前年同月に比し輸移出三百十萬餘圓輸移入七百八十四萬餘圓合計一千九十四萬餘圓の減少を告げ

貿易の權衡は前年同月百四萬餘圓の入超であつたのに反對に三百六十九萬餘圓の出超を示して居る叙上貿易の減少は蓋し一般財界商不況の域を脫せず殊に物價の低落に依り出入品價の收縮少からざるに由るは論を俟つたない誠に重要品に就て觀察するに輸移出にありて米は前年の豐作、內地農家不賣同盟等の影響に依つて出荷數量三十五萬餘石を算し前年同月に比し十五萬四千餘石を增加したけれども價額は百四十八萬餘圓の減少を示し生絲及び含金銀粗銅は引き續き

事業休止中 であるから殆ど見るべき出荷なく棉花も大阪方面紡績業者が手を出さない爲委託品の移出あるに過ぎないのみならず牛皮は銀價關係から支那度との競走上不利益の地位に陷り肥料は內地農村の不況し引續き取引不振を告げ其の他入品は總額、綿草、牛生等に至る迄一、肥料減に了り雜鐵類、金錢、小麥等に小額の增加を見た許りである又輸移入にありて綿絲布類は近時漸く在荷も減少し

穀價の下落 に因つて低落地方賣行思はしからず、生金巾類、八十八萬餘圓の減少を初め紡績絲、晒金巾、日本木綿等悉く不況を呈し、粟、米、小麥粉等は客秋の豐作による食糧の充足が主因となり石油や、石炭は在荷の潤澤の爲之亦入荷不振を告げた其の他穀物類、綿草、叭、麥等の諸品も概ね減退に了り入增の貨物としては僅に『セメント』小包み郵便物等の數客に過ぎなかつだ

總督府官制改正 十二日を以て公布されん

警察官及鮮人事務官設置に關する總督府官制改正並地方官々制及警察官理事官の任命は十二日勅令を以て公布せらるべし（東京電報）

防穀令全部解禁

安東海關稅務司エドワード、キルキス氏は二月七日付を以て左の布告をなしたり

本關布告第二五號第二三〇號第七號第三三〇號雜穀輸出禁止の件は總稅務司轉電に據る稅務處訓電に據り東三省雜穀は都て其輸出を解除す但し解禁後と雖も必要の場合に於ては其の輸出を禁止することあるべし右布告す

右布告に依れば從來安奉線の鐵道輸送に限り解禁せられたるものなりしも今回の解禁は海陸何れも全部の解禁を見る事となり又小麥に限り數量に制限を加へ解禁中なりしも全然此の制限を撤廢したるものと見るべし（安東電）

間島在住の內鮮人聯合會 決議文を可決當路に要請

間島在住內鮮人は陳し我軍の撤兵後に於ける同地の暗黑狀態を憂れ夫れ〻要路に向つて運動する所ありしが更に頃日一鮮人が不法にも支那巡警の爲銃殺に附されたるを動機として九日間島內鮮人聯合大會を開き左の決議文を可決し當路に向つて要請すると同時に本社に對しても其の聲援を依賴し來れり

聯合大會

皇軍一過して茲に間島の天地は平靜の假相を呈し吾人亦安堵の念を爲したるも我軍大部の撤退に乘じ一時境外に四散したる不逞團は更に過激派及び馬賊と相結託して猛然捲土重來し我討伐の償怨を洩らし同時に赤化を了せんとする事實は歷々として我べからざるなり然るに何事ぞ我派遣軍隊の撤退も亦近きにあらむが如く反聞すれば吾人の深憂を禁じ得ざる所なり若し夫れ撤兵ここあらむか實に怖る我間島は期前に比し更に一層の暗黑界に引去られむことを而し海外鮮人の統禦政策は異端に迫る喫緊問題なるも未だ確立するに至らざるは遺憾の極とすべく且本月七日龍井商埠內に於て支那巡警が鮮人を不法銃殺したる事件に對し內鮮人茲に大會を開き次の決議をなし當路に要請す

決議文

吾人市民は間島の現狀に鑑み平穩狀態に歸する迄現在派遣軍の駐留を要望し併せて此の際在住鮮民に歸趣を知らしむべく根本政策の確立を促し以て目的の達成を期す支那巡警が鮮人を銃殺したる非法に對し徹底せる解決をなすと同時に帝國政府に於て在住民の生命財產に關し將來絕對に安全の保護保障を與へられむことを當局に要請す

右請願す

御召艦航行費 四百四十二萬餘圓計上 東京電報

皇太子殿下には三月三日御發艦のことに御決定あらせられたるに付き豫て海軍省にて計上せるお召艦香取供奉艦鹿島兩艦の航行諸費は大藏省の查定に依り愈九日金四百四十二萬餘圓を帝國議會に提出されたり

朝鮮鑛業 大正九年中に於ける登錄文書取扱件數

大正九年中に於ける鑛業登錄文書取扱件數は登錄事件取扱に係るもの三千七十六件職權登錄百六十件合計三千五百七十九件にして同登錄稅納入額は十萬六千八十六圓五十一錢手數料納入額金三百九十七圓五十錢合計十萬六千四百八十四圓一錢を算す之を

大正七年 中に於ける登錄稅及び手數料納入額金二十四萬百七十七圓四錢並大正八年中に於ける登錄文書取扱件數四千二百二十九件登錄稅及び手數料納入額金十三萬二千二百七十二圓三十錢に比較するに前者は平均一ケ月當取扱件數に於て一萬千百九十件納入額に於て一萬千四十一圓八錢後者は取扱件數に於て五十九件納入額に於て二千百四十九圓の減少にして

其の減少 率前者は取扱件數に於て三割九分強納入額に於いて五割六分弱後者は取扱件數に於いて一割七分弱納入額に於て一割九分強を示せり而して大正九年中に新規に設定せられたる鑛區數三百七十六にして同年中に消滅したるもの七百十九鑛區（廢業五百六十六取消處分百四十三其他十）差引三百四十三鑛區の減少を見る卽ち大正十年一月一日

現鑛に は其の數二千五百十五なりとす

紀元節と陸軍

朝鮮軍司令部にては十一日午前十時より大庭軍司令官代理大野軍參謀長無位無勳下士並に判任官の參賀を受け又第二十師團司令部にては同日同刻より淨法寺師團長無位無勳下士並に判任官の參賀を受くべしと又各隊にては外出を許可すべしと

印紙收入概況

大正九年度十二月分印紙收入は八十四萬五百四十五圓同月迄の累計は六百三十六萬四千九十九圓にして前年度同期の收入に比すれば十二月分は二萬五千三百七十七圓累計に於て二萬八千四百三十六圓の減收となれり

通信收入概況

大正九年度十二月分通信事業收入は七十七萬六千六百二十圓にして豫算に比し五千五百五十四圓(二分強)を超過し前年度同月分の收入に比すれば三萬四千五百十圓(五分)を增收せり又十二月迄の收入累計は五百八十一萬二千三百五十三圓にして豫算に比すること四十五萬四千四百五十四圓(八分)前年度同期の收入に比し五十八萬六千九百七十八圓(一割一分)の增收となれり

射殺事件重大化せん 警察權行使問題 東京電報

ラングトン事件に關しては目下軍法會議に於て審議中なるが問題は浦鹽に於ける日本軍警察權に關し日米間の國際問題たらんとする形勢にあり卽ち米國側の主張は日本兵は米人に對し誰何するの權利なしと云ふに在り元來日本軍が浦潮に於て警察權を行使しつゝある所以は昨年浦潮政變以來各國民の生命財產危殆に陷れるを以て浦鹽駐在各國領事は決議の結果警察權を我軍に託するに至りしものにして當時米國領事コールバウエル氏も數回此の會議に連なりしが最終日に缺席し日本軍に交附せる警察權委任狀に署名捺印をなさず遂に今日に及べり故に警察權を日本軍に託せしことなしと云ふは一理なきにあらざるも日本側より見るときは浦潮領事團の決議に基き治安を保持しつゝあるものなれば誰何の權ありと云ふも不可なかるべく該問題は今や單なる射殺事件に止まらず將來に於ける警察權行使の問題に影響し甚だ面倒とならんとする懸念あり

紀元節祝賀

明十一日は紀元節の佳辰に付總督は官邸に於て左記各員の祝賀を受くべしと

一、本府並所屬官署（京城）勅任官

一、本府官房及各局高等官三等以下は各總代一名

一、所屬官署

判任官は各總代一名

長官は各自の官署員より祝賀を受けたる後總督官邸に參集其旨總督に申報

一、李王職は前項に準ず

一、中樞院副議長、顧問贊議

副贊議

一、朝鮮貴族

猶參賀者の服裝はフロックコート黑山高帽を著用すべしと

朝鮮步兵隊查閱

軍司令部軍醫部長山田弘倫博士は十日午前九時より衛本璞部軍醫正今野軍醫を從へ朝鮮步兵隊に臨場衛生業務を查閱したり

師團聯隊長會議

第二十師團長淨法寺中將は管下各聯隊長を召集十日午前九時半より同司令部樓上に於て聯隊長會議を開催せるが師團長の訓示及び指示ありたる後朝鮮師團の守備勤務並に教督に關し種々協議する處あり列席者は師團參謀長各部長の外左の如し

少將岩崎初太郎、奧田銓雄大佐、谷村定規、堀田信重、志賀四二長野越郎、小宮靜、本多虎門中佐原田宗一郎、水川光之氏等

◎朝鮮民會聯合會總會、同會にては各道實業主任官會議の開催を機とし二月十七日午前より京城南米倉町京城俱樂部に於て總會兼ね講演會を開催すべしと而して講演希望者は同會若しくは總督府殖產局務課吉川雄次郎氏宅へ二月十四日までに申込むべしと

日比谷の政戰を見ながら (七) 在京一記者

憲政會の厄日

獨立生計の怖い祟

◎大正十年二月三日は憲政會に取りて何と云ふ厄日だらう、慘敗に慘敗を重ねて來た普通選擧法案が卽決否決の傷しき運命を告ぐべく此日衆議院の本會議に上程された

◎錚々として降り積る白雪が朝來より帝都を銀世界化し品川灣より吹き荒ぶ獰風は行人の眼を惱ますこと夥しい。この猛雪と寒風とを物ともせず黑インバネス、高下駄の群は日比谷へ〳〵と集まり來て衆議院の通用門は一人山の盛況を呈し明眸皓齒とも形容すべき妙齡婦人が一際加はりて傍聽席には時ならぬ百花爛漫の春を見た

◎午後一時を過ぐること二十分にして漸く會議を開き會計法の改正案に高橋藏相の說明ありて委員附託、少年法案や矯正院法案は委員長の可決報告と鈴木次官の聲明ありて全會一致で可決斯くて日程は一瀉千里の勢ひを以て進み時々岩崎進行掛士の滑かな舌と異議ナシ〳〵の聲が聞ゆるのみ

◎衆議院議員選擧法中改正法律案の第一讀會を開くと宣し普選同盟會の提案を議題に供し議長は國民黨の關直彥老を壇上に招く老人卽ち壇上に步を運び諄々として提案の理由を說明す固より論壇百戰の老將軍のことなれば傾聽すべき個所なきにあらざるも獵早隱居の別莊にても還入つて孫さん達のお相手に餘生を樂むべき翁にして元氣潑溂たるべき普選案の說明をさせるのは聊か異樣な感が浮んだ翁は一時三十分間を費して壇を去る

◎獨眼龍川原茂輔氏の反對と當年三ハイカラの筆頭にして今や憲政村の一人たる松本キミヒラ學臣の贊成論ありて白頭宰相は其の巨軀を壇上に現した

◎首相が演壇に進みて未だ一言も發せざるに院內彌次講貧師たる中野寅吉君は『又解散デスカ』と半疊を入れて滿場ドット笑ひ崩れ流石の首相も手巾を出して口を拭ひ漸く失笑を隱し去る

◎二十八分間の首相反對演說は徹頭徹尾野黨を嘲弄し揶揄し通す其間『ノウ〳〵』『三百ダ』『詭辯ダ』『今に後悔するぞ』大紅小紅雜然として亂發卸々見ゴトなる喧噪劇だ

◎堂々廻りの結果は百十六票の多數にて豫定の通り二讀會に移さず一蹴して野黨の敗となり次に日程第八に移り憲政會案を說明すべく關和知氏が出場した同じく關翁務とは云ひ乍ら後の方が年も若く演說も旨い…顏こそ平ばつた無表情無意味なれ口調態度悠然、論理整然として當日各派演說中の白眉であつた何れより見ても政友會の横田千之助氏の向ふを張る人は此關さんである差當り加藤內閣でも出來たら內閣書記官長は請合であらう流石の政友會も鳴を潛めて傾聽すること一時間と四十三分

◎關氏壇を去り議題は討論に移らむとす此時遲く彼の時早く『憲法違反と云ふ說』聲は憲政會の一角に起つた問題の人尾崎咢堂氏は棒立ちになつて議長を連呼する……得意の憲法論を以て鋭く議長に切り込むや『ノウノウ』と云ふ怒號は憲政會席より嵐の如く起り『ヒヤ〳〵』『ヤレ〳〵』の喝采は與黨村より潮の如く生ず…議長は寺田書記官長の智慧を借用してシドロモドロの答辯を爲し、啞然として色を失つた憲政の幹部は面上悲痛の色を現し數千近き傍聽人は爭つて立ち上り守衛は制止に聲を嗄す……咢堂は千兩役者である問題を迎へては超群絕倫の妙技を有す

◎其後のことは記者云ふに忍びず兎に角憲政會と云ふ百人以上の第二大政黨は斯くして衆人環視の裡に『獨立生計』の黑い影に限られて空前の大悲劇を演じ、脫黨やら除名やらの騷ぎを惹起して斯して厄日を送つたのである恐ろしい普選の祟り

公會私會

◇明大校友會 明治大學校友會にては來る十三日午後四時より京城ホテルに於て校友會を開催する筈なるが會員及び同校緣故者の多數出席を希望すと會費金參圓五十錢當日持參の事希望者は常任幹事高橋章之助又は同小田幹平兩氏の內へ通告にて申込ありたしと

▲有賀氏披露宴 殖產銀行頭取有賀光豐氏は嚢に朝鮮殖產會社設立總會に於いて同會々頭に推薦されたるが過般其の就任を承諾したるを以て十二日午後六時より朝鮮ホテルに於て披露宴を開き實業關係者多數を招待する由

人事消息

▲安藤又三郎氏（京管局運輸課長）病氣靜養中の所快方に赴きたるを以て歸城の途十日朝釜山著同九時五十分北行したり（釜山電話）

▲植松伊一氏（京城軍用無線電信所長）事務打合の爲大連旅順地方に出張

▲神村正紀氏（軍需部長砲兵大佐）十日夜開原地方より歸城

▲岩崎初太郎少將（平壤旅團長）十日朝來城

▲長野越郎氏（大邱聯隊長）九日夜來城

▲谷村定規氏（平壤聯隊長）同上

▲水川光氏（咸興山砲兵大隊長）同上

▲美濃部俊吉氏（鮮銀總裁）十一日夜會同出席の爲め東上

▲齋藤莊三郎氏（京城地方法院長）管下巡視の爲齊川地方へ出張中の處九日歸任更に十一日某方面へ出張の筈

▲朝倉外茂鐵氏（辯護士）訴訟用にて大田大邱に出張中の處九日歸城

鮮人參政權請願 閔元植氏一行の入京 今期議會中相當具體化せん

衆議院議員選擧法を朝鮮に施行されたき希望を集めたる國民協會長閔元植氏一行は九日午後零時五十分入京東京ホテルに投ぜるが此の要求に對しては政友會は勿論憲政會にても極めて同感と諒解とを有し既に各派の代議士も彼一派の運動に對し大に努力すべく既に運動を開始せる者さへあり愈閔氏等が各政黨を訪問し諒解を得た上請願書を提出する順序になり今期議會中相當具體化したるものなるべく爰兩三年を出でずして鮮人代議士を見るに至らんと豫期せらる（東京電報）

愈々賣却土地の値踏みが出來た

仁川目拔の土地が幾何するか組合會では什う之を査定する　八日の組合會議

【仁川】年度初めに議決した學校組合所有の土地賣却案は年度末の今日に及んで愈々實行の事となつたそれも財界不況の爲め値に必要と認めるだけに打ち切つて九萬三百圓に相當する土地を賣らうと云ふので借地人或ひは一般希望者に對して希望の有無を問合はせてゐたが中込みは存外に多く合計七千四百二十二坪に達し之を地價だけで見るも豫定を超過して十一萬七百五十五圓に相當して居るのが八日開かれた組合會の協議の骨子であつた苟も仁川の價値を値踏みすると云ふ譯合であるから頗る重大なる案件である開會に當つて阪倉氏は公平を保ち且つ一般市民の誤解を避くる爲めに關係を持つ議員は此の評價に際し退したいと自己の意見を述ぶると藤井氏はまだ今から遠慮するには及ばないと云ふ更に角表面の議題は可決して別に秘密會を開いて理事者の提出査定した土地の値段表を審議する事となつた理事者は豫め前記の買受希望の土地に就て府財記吏員等五名の熟練者を以て實地其他を参酌せしめ適當と認むる價値を割出して組合會に諮つたのである探聞する處によると其の數字は地價に依つて十一萬七百五十五圓に相當する七千四百餘坪が評價の結果十八萬四千四十四圓の時價となつて居る即ち景氣の好い時に豫想された地價の三倍許が今日では十六割六分強に當つて居る譯である組合會に此の理事者の提示した賣値を什麼に查定するか其方法としては先づ議員外の土地に精通する元老有志の意見と借地人側と議員との三ツの査定比較設が藤井氏に依つて提唱されたが贊成がなく理事者からは成るべく與へられた議員の權能に依つて評價を乞ひ若し高價で不平だと云ふ者には賣らなくとも好いからとの懇願的希望も出た結局阪倉氏の説で評價に際して最も經濟事情に精通せる銀行家の意見を參酌する事に纏まり白神氏の委員選舉附託の申があつて一致委員長には滿場一致を以て投票を用ひず白神專一氏を推したそして第一回委員會を十一日の紀元節に開き拜賀式を終へて午前十一時一同打ち連れて現地に實地踏査を試むる事になつて居る愈々賣らるゝのも近い内である

アルジエリヤ摘要　▲現總督エム、アベル氏▲面積二二萬方哩（八本は二六萬方哩、朝鮮の八萬四千方哩を含む）▲人口歐人七五萬土人四七四萬總計五四九萬（一九二〇年政家年鑑）

佛國の『朝鮮』（十三）

アルゼリヤの概況

總督府技師　稅田谷五郎

八　宗教と教育

アルゼリア土人の殆ど全部は回々教徒であつて白人は基督教徒である、斯くアルゼリアは回々教徒及び基督教徒の兩者共存し土人と白人とは文化の程度に於て大差あり且其人種も異にして居るので其教育制度は錯雜して居る、目下白人及猶太人に對する初等教育は强制的に斷行せられ、回々教徒に對しては總督の措置に一任せられて居る、土人を同化せしむる手段として白人と土人との混合教育制度があるけれども人種的偏見と土人の教育に冷淡なるとに依つて著しき効果を示して居らぬ、アルゼリアには法科醫科理科及文科より成る綜合大學一、回々教徒學校四九六、其他中學教育に關する學校一六、初等學校一、三〇五、師範學校五（内女子師範二）等の學校を有して居る、

司法

アルゼリアに於ける裁判事務に關し二つの制度がある、即ち土人式及佛國式であつて土人間の訴訟は第一審は土人裁判所に於て土人裁判官に依り判決し次に佛國式裁判所に移さる白人に關する訴訟は總て佛國式裁判所に於て決定して居るアルゼリアには陪審制度行はれて居るけれ共土人は陪審官たる事が出來ぬので屢裁判上の失態又は刑を苛酷に導くことがあると云ふ事である

國防

アルゼリアの國防は母國の掌る所であつて憲兵及び警察官より全く獨立したる約六萬人の兵員を有して居る一個軍團（三個師團より編成）を以て之れに充當して居る而して其國防費は母國々庫の負擔に屬して居る、アルゼリア在住佛人は本國に於けるが如く軍務服役の義務がある土人も同じく一定して居つて抽籤法に依り服役者を定めて居る（完）

紀元節

【仁川】二月十一日仁川府にては午前九時三十分府廳樓上に職員の拜賀式を行ひ午前十時より同十一時迄一般市民の拜賀を許すべし仁川各學校に在りては同午後十時何れも各校講堂に御眞影を拜し拜賀式を行ひ仁川神社は同十一時大祭式により紀元節祭執行せらる

【安東縣】新義州在郷軍人會は來る十一日紀元節には午前十時五十分より府廳樓上に參集し御眞影の拜賀式、勅語捧讀式をなし終つて祝杯を舉げ聖壽の萬歲を三唱すべしと

參考資料調査

米檢査規則改正に就て

【鎭南浦】三井總督府技師は米穀檢査規則の根本的改正上必要なる參考資料調査の爲來南八日午後四時より同地商業會議所に於て同所の當事者を始め穀物業者數名と會見實際問題其他當業者の希望等に付き詳細の意見を聽取する處ありたりと

大邱大電問題續報

圓滿解決を遂ぐ　第二回市民大會に於て來會者大捷を祝す

【大邱】大興電氣會社に對し市民大會實行委員より發したる四項目の質問回答は七日午前十時より道第三部長室に於て新庄部長、福田大邱署長、矢田保安課長立會の上會社側より實行委員に口頭を以て回答せり質問第一項たる道よりの指示條項に對し實行期を明白に答ふべしと云ふに對し小倉社長は

指示條項中

の第一項『新に發電機を設置し其の原動力として蒸汽機關を設置すること』は未だ機械の註文を發せざるを以て一ケ年半の期間を要す同第二項『新機到着迄の需要に應ずる爲め變電に取除けたる一號機を裝置し市民の希望に副はしむること』に對しては現に松汀に据付ある一號機を取外す事に據付を了すべし指示條項三、變壓器の變更には二週間を要し同四項電燈低下の過大なる一次線二次線の改善には三週間同項の甲饋電線の増設は指示條項第二項に關係あるを以て同じく四月を要し次は三ケ月、指示第五項中の調査の新調は三ケ月乙の洗淨器は一ケ月指示第六項の調査は四週間を要すと確答し、質問第二項の

四ケ月間内

に据付を了すべし指示條項三、變壓器の……は會社として頗る苦痛なれども事情止むを得ざれば約

新機械設置

は如何なる發展豫想にて設置すべきやに對しては目下商業會議所に於て周到なる調査を遂げつゝあるを以て該調査に基づきて最善の施設を爲すべく、質問第三項、現在及び第一號機据付後に於ける點燈の需要に應じ得べき餘力を明示せよに對しては點燈に於て十燭換算六七千燈動力に於て六十馬力なり、

質問第四條

の第一項の實行完成まで電燈及び動力に依る收入の一割を供託し以て實行の誠意を披瀝せよに對しては會社は道の指示事項を以て既に過大なる負擔と居る場合に付き會社の施設に於て巨額の經費を要するに付き會社は誠意を示す爲に一割の供託を爲すの餘力なしと云ふや實行委員の一人なる杉原長太郎氏は市民大會が一割供託の件を附加したる事情を述べて需要者が

過去の光力

に就き點燈及び充分能率なかりし動力に對し料金の割引を爲せと過去に溯り或は改善の實を示さる迄値下げをなすべしなど主張するは不穩當の嫌ひなきに非ざれば本項を加へたるものなりと主張し形勢稍緊張せんとせしが新庄第三部長より道の指示も會社の負擔として容易ならざるにて且つ

會社も改善

の實を舉げんと聲明し居るとなれば監督官廳も亦嚴重なる監督を爲すべきに依り會社の苦痛も之れを諒として如何と調停意見を述べしに實行委員側は此旨大會に報告すべしとて一先づ

會見を終了

したり而して之れに引き續きて同日午後七時三十分より大邱座に於て第二回市民大會を開きたるが定刻前千葉氏の開會の辭あり次いで大西鬼三雄氏の報告演説は實行委員の選任より府廳樓上に於ける會社との會見顚末、二月四日驛廳前に於て

道より會社

に對する改善指示事項、七日第三部長室にて會社側と會見せし回答迄約一時間に亘る長廣舌を振ひ降壇次に杉原長太郎氏登壇電氣は都市發展に必要なるを力說し例を各地に引き我大邱の發展は一に電氣問題にあり府民は宜しく大局を達觀し一致團結し努力せよと結んで

降壇次いで

稻本新臣、立木要三、長谷穎三、永川幸太郎の諸氏交る〳〵登壇して滿場を賑はし增田兆太氏は電燈問題に就いては昨年來切歯扼腕せる處なるが本年一月廿日市民大會を開催すべしとの

議論熱する

迄常に一兵卒として奮鬪せり電氣問題が斯く迄早く解決せんとは豫期せざりし處なりと大捷を祝し之れを以て閉會に代ゆと述べて降壇閉會せるが時に午後十一時十分當夜の來會者約三百名なりき

仁川素人カルタ大會はけふ!!

東公園八阪樓に於て正午十二時競技開始

其の三　鴨綠江を背景に生命を的の生活

然も男性的で鴨綠江節に謠はれる筏夫の職業

乗夫の懷中

愈結氷期を眼の前に控へ雪やみ義州に寄き乘る頃になると水に鎖されて明日は安東縣や新義州に寄せ一行が出來る、今年は前に比し約二割減の收入を見るも六十八萬圓約七十萬圓のお金は

嬰中無一物

故郷の妻子を思ひ出し一度は歸るも郷に歸るに錢がないと云ふので上流にも限らない不所存ものがないとも限られない相である、而し眞面目にして洞察ひしながらも歸るに

三百五十圓

位の現ナマを攫んで歸るものも勘くなからうと觀測されてゐる券集される時に於て一も矢張り前借で百圓か百五十圓位を借りて來て居るものもあり現金を持つて歸る高は或は今少し減るかも知れぬと云ふ先づ

採木公司の

乘夫を二百五十人とし一人前一千圓と見て二十五萬圓、營林廠が三百五十人と見て同じく一人一千圓の働きとし

夏の始めよ

り秋の末かけて活動する乘夫さんが朝鮮製紙會社、新義州木材會社、滿洲坑木會社等會社個人大小の流筏業者を合せて八百五十人の乘夫を一人平均一千圓の收入をすれば實に八十五萬圓の活動料と計算する事が出來る、今年は前に比し約二割減の收入を見るも六十八萬圓約七十萬圓のお金は鴨綠江上下流の乘夫さんの懷に收まる次第なので鴨綠江の荒らい事は是にても略察せられると云ふものであらう（完）

檢米成績月別表

大正九年度

全羅北道穀物檢查所管内取扱に係る大正九年中の米成績月別表を見るに一月中一等九百四十七叺二等一萬四千九百三十七叺不合格一萬八千六百零五叺計八萬九千八百十六叺二月中一等二百三十三叺三等五萬五千三百二十七叺不合格九千七百七十六叺計六萬一千七百二十九叺三月中一等七百十八叺三等四萬零七百八十八叺不合格一萬二千五百二十五叺二等一萬二千五百二十五叺三等五萬一千二百六十二叺不合格一萬零六百九十三叺計八萬五千七百九十八叺四月中一等千八百零二叺三等三萬三千六百十一叺不合格七千二百六十叺計五萬三千二百零三叺五月中一等六百九十四叺二等八千三百四十八叺三等一萬七千百九十四叺四千三百十四叺不合格七千六百十四叺計二萬八千零八十三叺六月中一等百八十四叺二等百八十五叺三等一萬二千七百十三叺計二萬五千七百三叺七月中一等二千百七十叺不合格八百六十七叺計一萬二千五百七十七叺八月中一等二千二百四十九叺不合格八百二十九叺三等一萬零七百二十九叺不合格千百零八叺計一萬二千三十二叺九月中特等千零二十一叺一等四百三十九叺二等二千九百七十叺不合格五千二百六十二叺計四萬三千四百五十七叺九月中特等四百四十二叺一等二千五百二十四叺三等三十一叺計三萬九千七百三十叺十月中一等三千七百四十二叺十一月中一等六百二十六叺二等二千九百三十叺三等四萬五千零七十二叺計五萬九千五百五十六叺十二月中特等四十叺一等五百五十二叺二等二千三百九十七叺不合格一萬零百八十七叺計十萬四千三百三十八叺三等五萬七千三百三十四叺不合格一萬八千三百零七叺二等九十七叺不合格一萬八千二十四叺計特等千五百七十一叺一等一萬三千零十七叺二等一萬二千四百三十八叺三等五十一萬四千百七十九叺不合格九萬四千零十六叺總計七十三萬五千百五十七叺なりしと（群山）

地方集會

▲大田實業青年會　大田實業青年會に於ては二月十一日の紀元節を期し同日午後六時より大田座に於て第三回實業青年會を開催する筈なるが講師として湖南線鐵道課長森悟一氏其他數名よりは丹羽牧師又は其他の一名出席する筈なり（大田）

▲劍道寒稽古納會　大田教育會主催に係る劍道寒稽古は警察署員、警察官吏員、遞信局員其他有志の熱心に稽古の繼續し大田の士気を鼓舞したる豫定の通り來る十三日午後六時より之が納會式を舉行する筈なり（大田）

▲木曜會例會　安東縣木曜會は創立滿一週年に相當するを以て去る六日五龍背溫泉に於て例會を兼ね大會を開く筈なる者多く會員中支障者多かりし爲め遂に流會の已むなきに到れり（安東縣）

▲囲碁會　安東縣郵便局前安東囲碁俱樂部大會は一日正午より同好者多く午後十時手合を了りたる者の打切りの上閉會したるが當日の入賞者は左の如し（安東縣）

▲一等吉岡▲二等工藤▲三等荒川玄▲四等小田▲五等竹内

▲仁川碁友會　仁川の非天狗自稱で非友會が生れた其の結果を以て發起會員の會合の事である將來は毎月一回位の例會を催す計畫である

▲寒稽古納會　平壤武道獎勵會の寒稽古納會は七日午後七時より在郷軍人會武道場に於て開かれた劍道及び柔道の練習生は何れも南好の勇士揃ひで戰ひ激勵するところあつた式後に一同茶話會に移り極めた當日の來賓には林田平壤府尹初め府廳吏員等の御馳走が出て盛會であつた

▲平中寒稽古　平壤中學校に於ては例年の通り擊劍柔道の寒稽古中なりしが二月十一日の紀元節の當日納會を催すべく當日は學校側以外多數武術家も集るの由なるが定めて盛況を呈するならん

▲刑事講習會出席者　今回警察官講習所に於て開かるべき刑事講習會へ平安南道より左記警部巡査出席すべく命ぜられ四日出發せり

第三部長、平壤警察署中村警部、警務課刑事、鎭南浦警察署杉永刑事以上四名

農學校設置問題　報告會開催

【大田】農林學校設置問題に對する運動委員として出府したる渡邊面長外五名は二月八日午後六時より東本願寺に於て之れが報告會を開きたるが席上各有志の大田發展に關する希望演說ありて同十一時過ぎ散會したるが市民の集まるもの一百餘名に達し盛會なりき

◎在郷軍人分會へ寄附　左記の諸氏は帝國在郷軍人の主旨を賛成し同會平壤分會基本金中へ寄附せり

一金二十圓中村秀一、脇坂武兵衛、淀川喜次郎、對島長七一金三十圓川瀨秀一一金十五圓坪内宇三郎、山吉莊二郎、中鉢孫四郎一金五圓工藤正夫、杉崎勝藏、森山國雄、吉次利雄一金十圓第名仙吉、一金十圓村上吾一、大原清作、瀨戸山郁彥、梅田丹次郎、内殿福松、一金八圓加藤信也一金百圓川添純一郎

▲川添三次氏　仁川商業會議所副會頭川添三次氏は久しく病臥静養中なりしが九日午後六時病勢俄かに革まり遂ひに逝去せり氏は多年學校組合議員商業會議所評議員等の職に在り

元山名物　鬼十生

▲元山名物と云へば雪と明太魚である、冬は師走から翌年三月頃迄深く地を埋めてゐる軒の低い町家の屋根に雪が堆く積れてゐる北鮮でなければ見られまい、冬の元山市街は雪國の越後や北海道に似てゐる、海岸へ行くと水が一面に鎖してゐる、西湖の日の風の具合でその氷塊が沖へ流れては岸へ吹き付けられる、是れが元山の名物▲その雪や氷に今年は珍らしい暖い年で雪は降る跡から消えた、毎年氷塊の上に白い水鳥が數羽浮んで居る

▲は物足りなかつた、赤田川へ行くと鮮人が厚い氷を割つて小魚を釣る、是れを俗に氷魚と呼んで名物の一つに數へられるの氷の魚は普通の川魚で氷魚獨特の味が無いからだらう、兎に角今年は不思議に暖い年だから古老も首を傾けて居る▲北鮮名物の明太魚は一帶の不漁だから京城方面や内地の需用に應ずる事も出來ない、上戸の一の需用に應ずる事も出來ないまゝの明太の子などを好む人は食膳に上さない事になるが今年の冬は明太魚の味が無い、北鮮の明太魚業は朝鮮三大漁業の一に數へられ年額十萬駄（一駄は二千尾）百五十萬圓を下らない▲鮮人は概して云ふだが北鮮特に元山方面の鮮人は明太魚を嗜む、例て鮮人市に行くと賣れ行きが多い、寒い朝上に數知れぬほど行列を作つてゐる北鮮名物の北風に身を晒しては生干魚を搬へて賣りあるが分るのだと云ふ、明太魚の子に舌鼓みを打つ事は出來ないのである（元山）

◆著者が苦心の新方式
便利な組立式　書簡文庫
どんな手紙でも三分間で樂に書ける
保證附の一大著書
本書は有名なる書簡文大家相馬先生が半生の心血を傾倒して新方式に則り完成せし苦心の一大著作にして在來の手紙の新方式にして應用範囲二萬三千餘
紙數九百頁の大冊に内容を網羅し以下數十部門に分ち日常必要な往復文、ハガキ文は殆ど漏れなく集め本文庫さへあればどんな手紙でも少しも頭を痛めず考へずにスラ〳〵と即座に立派な手紙が幾つでも書ける頗る便利重寶な參考案の組立式也▲定價金二圓千部限り
文とは全然其法式を異にし如何な手紙の下手な人にでも其日から自在に自分の思ふ通りの手紙が書き得らるる保證付
特價　金一圓五十錢　送料金二十錢　書簡文集一冊無代進呈
申込者には附錄として書簡文集一冊無代進呈
振替東京三〇四八六番　東京市赤坂區青山六丁目　手紙文刊行會

◆發明新案特許　溫灸治療器
本器を使用すれば痛みもなく痕も付かず女でも子供でも簡便にお灸がすゑられる
特價壹圓五十錢　送料十錢
希望者は直ちに申込みあれ代金引換小包にても送る
東京市青山六丁目　振替東京二七四三番　有教社

御召工合良き靴　内田靴鞄商店

◆普通計算法より數十倍早い　珠算式新速算法
實用
前文部大臣　一木博士
前司法大臣　尾崎先生　賞讃
◆諸博士を驚嘆せしめたる新算法
著者本田眞彥先生は數學の天才家にして大學在學中世界各國の速算法に就て數年間研究の結果未だ世界の數學者が發見さる新速算法を發明せられたり、此新速算法によれば從來の算法の十倍以上の速さを實現し得べく殊に加法に就ては世界の計算界を一變すべき性質を有する新算法にして商亦乘法に至りては從來非常なる手數を要すべき問題を頗る簡單に計算し得べき新法にして實に計算界の一大革命と云ふべく而かも誰にでも一讀即座に會得し得
電話芝六一六八番

◆運勢判定術　通信教授
▲一ヶ月收入保險附　安全職業
資本も學力もいらぬ人は一寸先の事が知れぬ、若しこれが判つたら如何に幸福であらうか本社の運勢判定術は宛ら千里眼透視術の如く人一代の吉凶を手に取る樣に看破する事が出來る、本社は此際希望者を募集し特に發展し易き講義錄で極めて速成的に教授する卒業者は直ちに月收を確實に得られる妙案があり判定術者と成つて開業し多額の收益は安全に得らるゝ假令業とせぬ迄も此非凡の術力を覺えて置けば活殺自在人の幾に勝る事はない◆ハガキに此新聞名記入東京巢鴨町の心友社へ申込め見本無代で送る

謹啓　愈々御清適奉賀候陳者近來各方面へ弊店名儀を利用なし粗惡なる萬年ペン類を行商致す者有之候由にて甚だ迷惑致居候乍然弊店は地方行商人有之候節は無之候に付何卒此種行商致せし事御注意成被下度此段謹告仕候
弊店販賣の萬年ペンは左の三種類にて御座候に付御注文の際は御註文被下度候
米國製　ウオタマン萬年ペン
米國製　ムアー萬年ペン
弊店特製　ビツク萬年ペン
京城府本町二丁目　シノサキ文具店

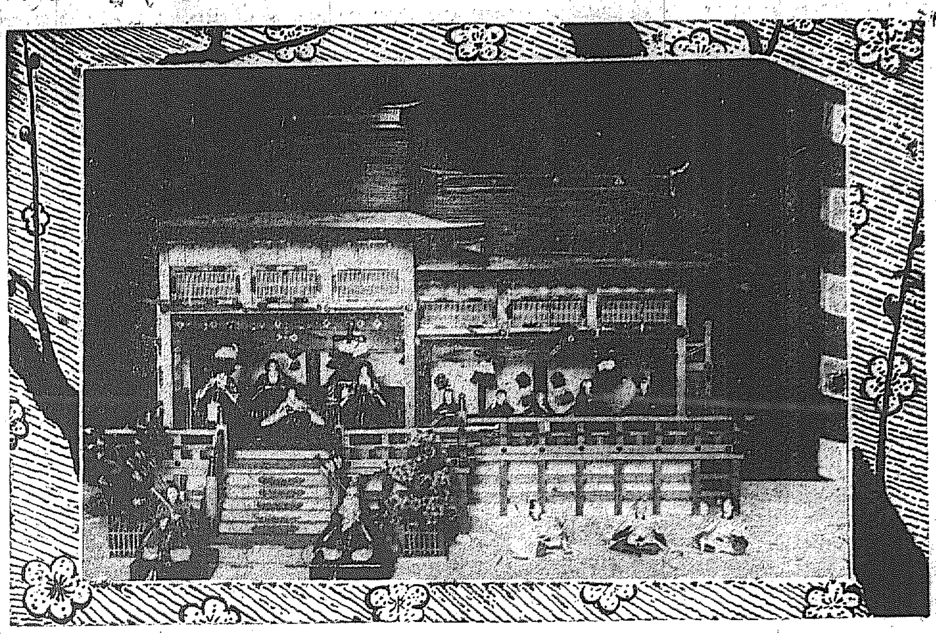
露國紙幣分讓
僅か金貳圓にて
露國紙幣壹千圓（ルーブル）を分讓す
◆世界大戰の紀念物として新有するも面白く◆露國の秩序回復せば必ず數十倍に昂騰せん
今回最も安價に分讓す品切れぬ内に申込あれ
望者は代金（送料共二十四錢）にて申込まれよ◆露國公債壹千ルーブルにて分讓す
前金注文は送料共二圓二十五錢を要す
振替東京二七四三番　東京市青山六丁目　有教社

新案附　永代日記
日記式
思ひ付た其日から書けて十年でも廿年でも書ける
頗る便利で經濟的
本日記は新時代の日記として頗る便利經濟的に考案せるもので十年でも五十年でも一生の日記でも書ける仕組である
思ひ付た其日からの日記が書けば過去の日記も書き得られ夫れ故本日記は自己の歷史とも亦重要記錄ともなり永久に保存出來得る男女萬人必備の重要な日記である尚ほ
附錄として▼知人名簿▼諸表▼納税一覽表▼圖書目錄▼金錢收支統計表▼家畜錄其他必要事項を附す此際千部限り特價五十錢（送料金二錢）品切れぬ内に注文次第代金引換にても送る
東京市青山南町六丁目　振替東京七四七三番　有教社
電話芝六一六八番

定價壹圓八拾錢の空前絶後の特價（前金注文送料廿四錢）（代金引換送料廿八錢）千部限り破格の特價
東京市青山南町六ノ五〇　振替東京二七四七三番　有教社出版部

内科　胃腸病　診察午前九時より
京城本町一丁目　石川醫院
電話一三九〇番

純白美乳（ホワイトビニウ）
蓬萊に聞かばや…
白色美の初便！
▽春早々好評湧く如し
新年の御挨拶は判で捺したやうに何處へ行つても決つたものでありますがさてそのあとで「失禮ですが貴女のお色の白さ、春が來て却つて一つも二つもお若くなつたやうです」と若しほめらるゝ方がありましたらその方は屹度純白美乳の愛用者であると斷言するを憚りません、白粉を塗り立てた白さは最早近代人の排斥する所、然るに純白美乳は僅か一滴の力で生地から根本的に色を白く美しくさせますから其の白色美は必ず人を魅する擧、春早々から高評湧くが如き純白美乳を召せ、一年の好運の基は今！
美乳化粧料本舖　矢野芳香園



雛飾り ＝寫眞は三越樓上に飾られた紫宸殿＝

宣統皇帝の外遊

多分明年決行せらるべし 徐大總統も此計畫に贊同 或は日本をも訪問せん

七日發上海特電に依れば宣統皇帝の師傅英國人ジョンストン（在北京）の談として確かなる筋に依り傳へらる、處に據れば目下前清國宮中に於ては宣統帝の歐米微行問題及び婚事問題を審議中にして外遊は明年と定めジョンストン李經邁等隨行の筈なるが大總統徐世昌は既に此計畫に贊同せり宣統帝は本年十六歲なるも漢學及び泰西科學の課程は共に著しく進步し又英語の上達に連れ外國地理に深き趣味を有しヴェルサイユ講和會議開會中の如きは新聞紙上に現はれたる外國地名を地圖と對照し國境問題に就き熱心に研究せられたる程なり尙同皇帝はタイプライターに深き興味を有し過般大總統が獻上品の種類を侍從まで問合せたるに該侍從は同帝中第一にタイプライターを擧たりと云々又別報に據れば宣統帝歐米御漫遊の際には日本側に差支へなき限りは多分日本をも訪問ある可しと（東京）

大阪城そつくりな南洋ポナペ島の城趾

數世紀前日本人移住の事實を物語る證據

南洋ポナペ發通信＝ヴェルサイユ講和條約で南洋諸島を日本が委任統治する事になつたが此等の諸島には數世紀前に日本人が住んで居たらしい事實はポナペ島のナマトル半島の城趾を見ると歷然たるものがある一月三十日將校連はこの歷史的な城趾を訪ねて城趾を觀察したが其の建造の方法樣式が日本の大阪城にそつくりな點が數々あるのを發見した、勿論ポナペの城は大阪城よりもずつと以前に出來たものに相違ない、ナマトル城はポナペ四方數百哩の地點では何處にも石の建築物が無かつた時代に數千人の人を使用して出來たものらしいこゝに不思議なのは竹で組立てた茅葺の小屋に住んで居る現在の土人の口碑傳說にはナマトルの古蹟に關したものが一つも無いので之を說明する事が出來ない事は遺憾である、ナマトルの古蹟には今尙厚さ六尺、高さ廿尺以上の石壁の一部が現存して居る、六角形の玄武岩は

石垣の外側に 使用され火山岩の非常に大きな一枚石が庭に通ずる石段にもなつて居る、ナマトル城趾は長さ約一千尺、廣さ一百尺で岩丈な石垣の內には昔廣い筵直な街路であつた所に今海水が干滿し且崩壞しかけた石垣や庭には如何にも熱帶的な藪が生茂つてる、昔ナマトルには稠密な人口があつた事と且

今日では漸次海底に沈みつゝあるけれども其昔は南太平洋のヴエニス市を建設した偉い建築家の事業を物語るものは時々城趾から發見される丸い孔のあいた貝の貨幣計りである（東京）

セ將軍の動靜

日本訪問は議會閉會後

旅順に靜養中のセミヨノフ將軍に就ては種々の揣摩臆說傳へられ今にも日本に向ふとか或は哈爾賓に現れたりとか乃至はポグラニチナヤル反過激派の旗上げをなすべしとか傳へられつゝあるが今其の內にて尤も信を措くに足るべき某方面より仄聞する處によれば近々再び張巡閱使と會見の要あるを以て來奉一二日滯在の上歸旅すべく而して日本訪問の期は多分議會閉會後となるべく反過激派の旗上の如きは素より希望し居れるは勿論なるべけれども其順序及時期等は尤も愼重を要すべきものなれば今遽に動くべしとも思はれずと云々と

婦人と家庭

小兒の感冒は却つて春先に罹り易い（下）

豫防方法としては皮膚の訓練が第一

滿鐵道病院小兒部長醫學士 吉田得二氏談

皮膚の訓練の方法は其人の强弱の工合で施すべきもので寢床から起立てに肌脫になつて自分の手で又は

軟かい布片で擦る樣な方法もある。又冷水摩擦もよい何れも夏から初めて休まず毎日續けるのである幼兒は滿五歲位から適當である、何れも急激に始めるのは大の禁物である。次は著物で夏季から、心掛けて子供（大人でも）には可成厚着を避けたい厚着をさせると運動々作を妨げると云ふ不利益の外に皮膚を弱める抵抗力を減ずる

又室內では 容易に汗ばんだりして感冒にかゝり易いから寒中でも下に毛織の襦袢を用ひて上にはなるべく薄著で通す習慣をつけるのがよい毛織の襦袢は皮膚を刺戟するから不適當だと云ふが哺乳兒は別として其外の子供には少しも害はない尤も氣をつけて其の質を選ぶべきは云ふ迄もない當面の注意としては室內をあまり暖めすぎない事居室はストーブで七十度位にして一步

廊下や便所へ出るこ寒いへ上る樣では却つて有害であるこれから春先になると日中こ朝晩この氣溫の差が著しくなるから子供には日中の暖かい時は適當に減じ夕風の寒さを待つて重ねてやるべきである、ないで前に注意して子供はポカ／＼した日向に懸命驅け廻つて居ると自然汗ばむ譯で夕刻の寒くなるのも氣付かず飛び廻つてる間に感冒を引くのが一番多い、又乾燥した寒氣よりも

濕潤な空氣が體に害が多いから雨の日や雨上りには外で遊ばせない方がいゝ、其他湯上りや散髮の直後には外出を避ける樣にしたい、汗の付いた襦袢や濡れた足袋、靴下などは直に取り代へてやる事胃腸を害はない樣に食物に注意を拂ふ事は申す迄もない、又寢冷ねをさせない事其他嚏風は實に恐るべきものである

雛人形

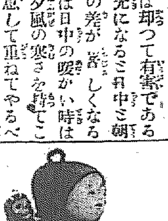
中々に技巧の凝つた

おい／＼と桃の節句が近づいて情趣をそゝる華やかな雛人形の姿はポツ／＼と店頭から現はれ出した本町の某店に雛の傾向を見ると近來は子供の玩具と云ふよりも寧ろ大人の玩具一の裝飾品として

家庭的にもてあそばるゝ樣になつて製品の上にも著しく技巧が進みなか／＼精巧な品が出來大人が一の美術品として賞美するに充分なものが出來た東京あたりでは殊に人形に趣味を持つ人が多くこれは逸品だなど見るものは片つ端しから買れて行くと云ふ風で一方

粗製品となると頓と顧られないお定まりの內裏雛官女五人囃し隨臣仕丁などはさして變りはないが離れ雛の新しい意匠品としては有名な鶯宿雛な形どつたものとか子供の能狂言やらお雛話の舌切雀等があり

最も新品として流行してゐるのは木彫である極



小型の 背丈一寸か一寸七八分位の中に見事におさまる花咲爺の人形や同じ型で桃太郎の猿が瓢を背負ふた猿廻しだの、奴だこ其の他戲れ掛ふ獅子人形には其の口中や下腹部に精巧な人形の現れ動く等凝つたものがある之等のもので一圓九十錢から四圓五十錢位で

普通雛 其他の附屬物小道具類もすべて價格に於ては昨年に比し二割方の安値である

亡友の妻を辱しむ

色と慾との二道から 事件の內容は世相を語る 頼み難きは人ごゝろ

橫領及び姦淫罪の科を以て先頃來龍山警察部李斗榮氏から取調べを受けてゐた江原道鐵原郡鐵原面長浦里千二百七十七番地雜貨商趙東植（四七）は愈よ今回檢事局に送られたが事件の內容は世相を窺ふに十分である 趙東植は同地の雜貨商金琪培と數年來兄弟も啻ならぬ親交があつた三年前金が病沒する時趙を枕頭に呼んで遺產の整理と

妻子の後事とを託した普通なら友の遺言を奉じて友の靈魂を慰むるのであるが彼は慾と色との二筋から金の此世に殘して置いた總てを橫領しやうと陰謀を企て八年六月五日漣川郡郡內里三百二十四番地李善重から受取るべき金三百圓を自分の名義に變更したのを最初に金の所有家屋を金の妻李姓女（三〇）を巧に欺瞞して七十圓で買取其金を支拂はざるのみか

更に李姓女より四十圓を捲き上げた李姓女は始めて趙の姦策に罹つた事を知り其後再三返却を迫つたが言を左右に托して應ぜず大正八年十月中旬漸く李姓女に對し家事上の相談ありとて巧に誘き出し自宅溫突內に伴れ込み

手足を縛したる上兩手を以て李姓女の口を掩ひ散々辱かしめ若し是を口外すると殺すと脅迫した李姓女は憤懣と痛恨に絕えず其筋に訴へ出やうとしたが後の祟りが恐ろしさに住み馴れた土地をあとに龍山元町一丁目百番地に移り住み悲しい

佗しい日を送つてゐる中ある日心易い人に身の上話をしたのが其筋の耳に入り取調べの上前記の次第が明白になつたのである

新しい家屋が建並ぶ

舊練兵場跡

曩に京城府では住宅の調節の目的を以て龍山舊練兵場の埋立を竣工し面積一筆につき百坪內外より二百位の約百筆を一般公衆に投票賣下した目下住宅敷地に盛に建築中であるから今夏六七月頃迄には少くも百戶位の住宅が出來上るであらう去る七日眞つ先に上棟式を擧げた名草組藤井氏を筆頭に續々新家屋が並び建つであらう

高普學藝會

京城女子高等普通學校では十一日紀元節の佳節を期し生徒一同の學藝會を催すべく君が代の唱歌に開會次はプログラムに入り中にも重なるものは本科生の英語や國語の朗讀師範科生の器樂の獨奏各學年生の唐歌臨時教員養成所員の

の鮮語新聞等凡を二十五回に亘り盛大に行はる

琵琶演奏大會

朝鮮琵琶新聞社主催、各派琵琶演奏會は二月十五日午後五時より本町二丁目壽館に於て催さるべし主なる曲目左の如し

▲勸進帳▲項羽▲城山 ▲坂山▲本能寺▲橋大塚長▲蓬萊山 ▲盆散樹▲常盤丸▲山內一豐▲俊寬 ▲山崎合戰▲臺灣入▲大高源吾▲筑後川

◎西大門外有志協議會 西大門外有志は十一日門外發展策に就き第二回協議を重ね既報の問題を決議する由

◎理髮業者へ訓戒 鍾路署では十日午前十時管內理髮業者五十名を集めて工藤衛生主任から業務上に就き訓戒した

市內の小火

八日午後九時四十分頃府內仁寺洞二九米穀商金聖寅方から發火同時鎭火原因は煙草の吸殼から損害僅少の見込▲十日午前十時府內橋通洞雜貨商孫宅柱方から發火同家溫突一間を燒失同二十分鎭火原因溫突焚火の不始末損害三十圓位の見込

紹介

翔光堂發賣の喘止ボンボンは名醫喘咳を止むるに妙にして老幼を問はず明好に適する所なるが大正七年京城本町一丁目に其支店を設置し支店長森亮也氏は開設當時より來任し盛況を極むるに至り同氏は今般本店詰に榮轉し近日出發の筈なるが後任として錦織暢氏著任し更に大々的に業務の擴張を圖る由

關釜連絡船

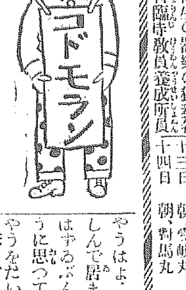
釜山發 朝七、五〇 夕八、三〇

十一日	朝、壹岐丸	夕、高麗丸
十二日	朝、對馬丸	夕、博愛丸
十三日	朝、壹岐丸	夕、高麗丸
十四日	朝、對馬丸	夕、博愛丸

卒業後の事

鐵路小學高等科二學年 平田イカ子

御懷しき御手紙を頂き懷しく拜見仕り候貴女樣には其後御無事の由承はり嬉しく存じ候次に私も無事に暮し居り候間何卒御安心下され度候さて卒業期も御同樣間近に相成り候處貴女樣には御卒業後高等女學校に御入學遊ばさるゝ趣き誠に結構に存じ候益々御勉强なされ度願ひ候 私はしかと確定致さず候へども母と共に內地の方に歸く事に相成るかと存じ候其折は又後便に詳しく申上ぐべく候



ぶんちやう

日出小學二年 曾我セツ子

うちのぶんちやうは大へん美しく、こさかはまつかで、はねはうすむらさきで、大へんかはいらしうございました。ぶんちやうは私によくなれてゐまして、私が朝ぶんちやうはどうしてゐるかと、かごの戶をあけますと、ぶんちやうは私の手のひらにのつて、よいこゑでうたをうたひます。それからぶんちやうをかごに入れて、ゑさをとりに行きますと、ぶんちやうはかごの中の小さな枝にとまつて、じいつとしてまつて居ます。私がゑさをもつてきて、かごの戶をあけやうとしますと、ぶんちやうはかはいい足を小さなおちやわんの上においてたべて居ます。そうしてまい日く かはいがつて居ましたが、ある朝いつものやうにかごの戶をあけますと、ぶんちやうはよこになつてしんで居ました。私はずゐぶんかはいさうに思つて、ぶんちやうをだいて、はこの中に入れてあなをほつて、その中にうづめました。それは私が一年の時でしたが、今でも鳥屋にぶんちやうが居ると、ぶんちやうのことを思はないことはございません。

和歌

日出小學五年 中村興太郎
今日もまた氷すべりのおもしろさすべつてゆけばいたさわすれる

日出小學五年 尾田 泰
くれてゆく春のみなとは知らねども霞におつる宇治のしば船

日出小學五年 時盛 田夫
黑板のまへをは見ればせんせいはこちらをむいてはなしする

日出小學五年 齋藤發特良
雪の日に僕のつくりし雪だるまたごんの目玉ころげおちけり

ホーカーオナー懸賞都々逸募集

懸賞 都々逸募集

發賣早々非常な流行を示し東京を初め各地の御婦人方は勿論男子も『此があれば今迄のクレームは用はぬ』この高評を受けて居る新品ホーカーオナーを一般に宣傳する爲め茲に例によりホーカーオナー讀み込みの都々逸を募集する事になりました、依つて左記規定により必ずホーカーオナーの七字を讀み込み且つ效能を巧に言ひ現したものを續々御投稿あらん事をお願ひ致します

作例
ホーカー白粉白さが與ふ洗ひ落した素肌迄

規定
△用紙 官製ハガキに限る
△締切 三月十日限り
△發表 四月中旬の本紙
△宛名 京城本町 堀越商店廣告部
△記入 本廣告を見たる新聞名を必ず記入すること

賞金
一等 金拾圓 一名
二等 金拾圓 五圓宛 二名
三等 金拾圓 二圓宛 五名
四等 金拾圓 一圓宛 十名
五等 ホーカーオナー一箇宛 五十名
◎賞金は發表當日より十日以內に發送すべし

ホーカーオナーの優れたる特色
□肌を滑らかにスベ／＼させる
□肌を整へ、色を淡紅白くす
□白粉のノリノビを好くす
□イキイキした色艶を現す
□ヒゲソリ後の剃刀負を防ぐ
□お子供衆の肌を丈夫にする
定價小瓶五十錢 大六十五錢

本舖製品
ホーカー液
ホーカー白粉
ホーカーパット
ホーカー美髮液
ホーカークリーム白粉
ホーカーポマード

東京神田和泉町 本舖 堀越嘉太郎商店

トリスウヰスキー

あまり多くの時と量とを要せずして しかもよく快味を得らるゝ點 及び頭痛誘引のフーゼルを絕對に含まざる點 そこに生活改造の使命あるトリス

鳥井商店

新案山內式 重寶器

特價提供 詳細なる說明書特價は御照會に從ひ御解答可仕候

輕便なる細斷器は衛生上經濟上社會の進步發展に伴ひ日常必需のものなるに未だ世人の期待に副ひ滿足を與ふる良器なかりしが山內式碎粉器は從來の缺點を補ひ眞に重寶至便の良器なり其眞價は需要數の日に月に激增以て之を立證す聊か平素の御愛顧に酬ふる爲め特價提供仕候て御購求賜はらん事を乞ふ

東京本町三丁目 電略（サト） 振替口座東京一二二〇番
佐藤半次郎商店

TAKA-DIASTASE

胃腸疾患と タカヂアスターゼ

高峰博士發見の本劑は胃腸疾患に必要缺くべからざる新藥として多數の臨床醫家に依り賞用せらる內外醫家の實驗報告書あり無代贈呈す。

本社 東京日本橋區室町三丁目
出張所 大阪淡路町・臺北府後街
三共株式會社

摸造品續出す御注意

オキシパサー

本器は科學界の泰斗マイケルフアラデー氏の發見に係るダイナマグネチズムの原理に基き大氣中の治療素を利用して使用後直に

感應强弱を調節し疾病の根元を絕滅せしむるに有效なる物理的治療法にして中年の病者にも效なき事無し

效力永久にして器械代以外消耗品等の費用を要せず使用簡便にして何人にも使用し得危險なく婦人子供にも使用することを得 リウマチス神經痛

腸病、腎臟病、心臟病、神經衰弱、肋膜炎、喘息、人事不省、性病、效力の確實なる證明書及說明書は申込次第無料贈呈す

定價金參拾九圓

流行性感冒の豫防と治療に 効力絕大なる各病院聯隊より注文殺到

東京麹町區有樂町一ノ三 大日本オキシパサー商會 電話丸ノ內六九三・振替東京二三八二一番

オキシパサー總代理店 龍山驛前 森松次郎 電話九〇五番
京城府黃金町一ノ六〇 取扱店 松本商店 電話三〇六二番
京城日報社代理部

緩衝機（投書歡迎）

安藤運輸課長

二十一日の京日紙上に釋明を試みられたので小僧は府氏の懇切なる同情に謝する……據れば倉庫增設は相當の方法を執る……保管料は日曜、祭日に……

◎朝米代用は大阪取引所で廢止した……米は下落する從て値幅がない……貨負擔の餘裕が無い野積保管が廢止される……

……米穀商は切めて滯貨の信用も迅速にして多數の商品を取扱ひ其れにより幾分の難有味が味いたいのである……

◎米穀を驛へ山程持込でも貨車の回送が受付られ……

中法銀行の

……期間經過せば貸付を開始し得べき……

何故の覺悟

……運中大正運動場石垣下なる海岸……

へ御願ひ（新東小僧

貨物協會西ケ崎氏談……之等が重要であるから小僧に對し……誤りでないとの趣旨を以て特に……於て四票の……東北の機位を決定すべし（東京電話）

水野夫人招待會　昨日午後五時より總督官邸にて

朝鮮政務總監水野鍊太郎氏夫人萬壽子の主催にて京城在住の婦人を招待し懇談會を催された＝寫眞は前列右より（一）小松夫人（二）鳩山夫人（三）清浦……

東宮殿下御渡歐
御告別次第
兩陛下には親しく御對面
御告別の辭を申上げらる
三月三日御出發

東宮殿下には愈三月三日御出發御渡歐の事と相成りたるが御出發前の御準備として來る十二日限り御學問所の第七學年の御課程の御休學を仰せ出され十四日より十九日迄一週間の間左の如き日割にて御出發の御告別あらせらる尚右の間は特に赤坂離宮を御使用あらせらるべし

▲十四日親任待遇以上晩餐會
▲十五日各勅任官御餐下賜
▲十六日同相當官海陸軍拜謁（以上赤坂離宮にて）
▲十七日、十八日、十九日（內一日は皇族王族御告別の午餐會）（以上東宮御所）
▲二十二日東京驛御出發伊勢神宮伏見桃山兩陵御參拜の爲め行啓
▲二十五日頃還啓

尚ほ十六日以降宮中賢所明治神宮に御告別あらせられ又葉山御用邸に伺候して兩陛下に御對面の上親しく御物語り在せられて御告別の辭を申上げらる。御發途は三月三日と決定なり（戸田主事談）（東京電話）

全鮮蹴球大會
十一日から三日間
培材學堂で開催
朝鮮體育會の主催で

鮮人靑年の壯烈なる戶外遊戯として蹴球は全鮮各地で素晴しい盛況を示してる嚴寒中に拘はらず此の日も壯烈な蹴球戰が靑年の意氣を示してゐる。茲に全鮮の蹴球大會を擧行して鮮人靑年の體育振興に盡せる

朝鮮體育會 は來る十一日より三日間貞洞培材學堂校庭に於て盛大なる全朝鮮蹴球大會を擧行に決し頃日來續々全鮮の蹴球界は色めき渡り遠く東州、平壤、海州、東萊等より遠征の團體もあり既に各遠征團隊は九日夜より十日朝にかけて入城し

晴の第一日 を待つてゐる朝鮮體育會は漢城銀行頭取張斗鉉氏を會長に普成法律專門學校長高元勳氏を副會長に以下運動競技界の人々を網羅して役員と爲し十二三兩日豫選十四日決勝戰を行ひ斯界の覇者を決定する相であるが申込團體は京城地方に學生組七實業團一二計十八團體で府內は培材、徽文、中央の各學校と普成、徽文、中央の各學校と年會學館の

代表選手が 當日勝を爭ふ筈であるとか。蹴球は純英國式で球はアツソセーション式を用ゐ一團選手十一人ゴールを目がけて突進邁進雌雄を決するのであるとか。十一日は參加十八團隊夫れ〳〵ユニフオーム姿で普成高等普通學校庭に集合し會長張斗鉉氏引率して鍾路通りより本社前に至り本社に敬意を表して會場たる培材校庭へ至り堂々たる入場式を擧行し壯烈なる豫選試合に入るべしと

學生大會
投票で態度を決定
藏前高工生

藏前高工學生委員は九日夜七時より集合し退校屆けを撤回し復校するもの又は反對するもの兩派を無記名投票にて決する事とし投票し開票は十時を以て終了散會後同投票箱を日本橋本部に移し十日午後十時學生大會に

ペストに就て
患者は斯く診斷し
斯く豫防しなければならぬ
總督府醫院長　志賀潔氏談

現時滿洲に流行してるペストは明治四十三年の流行と同じく肺ペストで其傳染は頗る猛烈なるものである然も之が傳染を受くれば一日若くは二日の潜伏期を以て發病し通常三日乃至四日の經過を以て死の轉歸を取り殆ど治癒するものはない故に一旦ペストが管內に侵入するを見ば直に全力を盡して其撲滅を圖らなければ恐るべき蔓延を見るは必然である

肺ペスト 患者の咳嗽で飛散する痰沫より傳染するもので原發性肺ペストは惡寒戰慄を以て發病し高熱を發し肺の一葉又は數葉を犯し胸痛及び呼吸困難を感じ胸部水泡音及び笛聲が聞ゆる顔貌は苦悶の狀を呈し結膜充血する喀痰は初め泡沫狀の液であるが速かに帶黃紅色に變り又屢血液を混ずる事がある意識は明瞭にして煩悶するけれども往々不明となることもある經過三日乃至四日にして心臟痲痺或は肺水腫を發して死ぬのが普通で稀には一二週間の經過を取ることがあるも治癒するのは例外である

腺ペスト 肺ペストは腺ペストより續發的に發生することがあり『腺ペスト』は蚤により『ペスト』鼠より傳染し或は創傷より傳染し先づ其侵入部に附屬する淋巴腺が腫れる『ペスト』性腺腫は劇痛を感じ又運動に際しては劇痛を發し其部の皮膚は緊張して移動し難く全身症狀としては熱を發し惡寒あり倦怠あり症狀進めば全身の苦悶を發し頭患の狀を呈し終に精神溷濁して脈性微弱細小となり心臟麻痺に陷りて死に至る尙此外皮膚ペスト（又ペスト症）ペスト敗血症などいふものもある

患者と消毒 『ペスト』患者又は疑似患者を發見した時は速かに之れを一定の場所に移し（汽車內にては最近の停車場に於いて下車せしめ隔離所に移す）蚤虱の散せざるやうに注意して治療を施さなければならぬ同室內のもの同居者は之を隔離所に移して五日間の檢診を要する即ち汽車內にて患者を發見した時は其一車輛（又は患者が他車と交通したる時は其車輛をも）を其儘隔離所に送り乘客を隔離所に收容する而して車內は特に患者の居りし附近を注意して充分に消毒が大切である汽車又は居室は石炭酸又は昇汞水を先づ噴霧器で充分に撒布し然る後消毒藥を浸したる布片を以て叮嚀に拭はなければならぬ

其他の注意 檢診又は消毒等に從事する者は豫防衣を著し眼鏡を掛け呼吸器を用ふべく停車場又は汽車內には石炭酸又は『リゾール』等の消毒藥を適當の場所に備へて置く

親子五人の投身
五人の體を縛り合せて
生活難の爲か

長野縣上伊奈郡御穗村字京木農久保田鐵藏（三九）妻若江（二九）の二人は長男（七）次男（五）を兩人の肩に背負ひ三男（三）を眞中にして繩にて離れぬやうグル〳〵卷にして五日一緒に曾地川に投身した死體は同所池田內の樋に掛つて居たのを七日發見し八日漸く引揚げた原因は生活難の爲である（飯田電報）

古鐵四萬餘圓を詐取す

岡山縣兒島郡佐士村字濱町鰐健吉（三四）は大正九年九月廣島市西地方町海草業桑原秀五郎方に山口縣佐波郡大川村鉄道乘御園と僞はり古鐵八百貫時價二千二百圓を大阪木津川安藝商會に送つてやると僞はり尾之道市御品の古鐵商工藤龜吉に賣却し其の他同様の手段にて九州山口兩縣下に於て四萬餘圓の詐欺を働きたること發覺し岡山署の手に逮捕せられたり（岡山電報）

珍らしい離婚訴訟
去勢された夫に對し
妻の方から離婚請求
人情と法律の矛盾

九日午前十時京城地方法院民事法廷に於て吉田裁判長、內山、化村兩陪席の係りで人生天賦の性能を抑壓するは『情狀憐れむべきことであるが社會共同生活の秩序を維持する上に於て寔に已むを得ざる次第である』さて遺憾ながら原告の請求を却下すとの判決を下した前代未聞の離婚訴訟の新判例が出來た原告は京城府樓下洞八十六番地梁元默で被告は京畿道龍仁郡器興面上葛里百十五番地沈文澤だが原告の

請求は 大要左の通りである原告は明治四十四年十月八日十二歲の時被告と結婚し爾來十五年間同棲し來つたのである。結婚當時被告は二十七歲の青年で何事も辨識あるに反し原告は幼少にして何等性慾上の無知識であつた然し乍ら年を追うに從つて原告が肉體上の

欲求を 感じてからも被告たる夫は二歲の時に去勢して居るので之に應ずることの出來ぬ缺陷があり遂に十五年間こ云ふ永い年月を空しく經過したのは人生無上の不幸であるから離婚したいと云ふのである。前記の理由に對して未だ判決例はないが判決文の概要は左の通りである

敗訴の理由

凡そ婚姻關係なるものは單に之を形式的に觀察するときは特定の異性間に於ける適法なる共同生活關係に過ぎざれども之を實質的に觀察する時は人生

必然の 欲求たる情的生活の滿足及び嗣子孫の繁榮を目的とする社會的現象なるを以て婚姻關係に當事者の一方が此の人生必至の欲求を充たすに必要なる精神上又は身體上の或性格に

缺陷が ある場合は該婚姻は法律上に於ては勿論其の成立を否定することを得ざるべしと雖も其實質的意義の大半を缺如し相手方たる一方の精神上及び肉體上に於ける苦痛は至大なりと謂はざる可からず該婚姻關係を繼續せしむるが如きは人情の自然に反し從て不德の

破倫の 惡果を誘致するの危險を伴ふものなれば斯かる當事者に對して婚姻關係の解消を求むることを得せしむるを妥當とす元來法律は社會共同生活の秩序に反せざる限り努めて人情の自然に循ひ各人をして天賦の性能を滿足せしむるにあるが故に婚姻關係を規律する法則に於ても宜しく青春の情感を

壓抑し 人をして固陋なる因襲の桎梏に泣かしめ隱忍芬恨遂に永き將來を誤らしむる所以に非ず然れども最も重大なるが如きは決して其旨趣に合する所以に非ず法律の使命は社會共同生活の秩序を維持するにあり故に法の情に捉はれて義に悖ることを許さず一人の苦痛を救ふ爲に社會生活の秩序を紊亂するを得ず原告の

境遇は 一面極めて憐むべきものありて婚姻關係の繼續を絶ゆるは情に悖るの嫌なきにあらずと雖も他面永年平和に經過せる家庭の破滅に伴ふ被告の苦痛と之が爲め世間幾多の類似せる家庭內の聯鎖を弛緩せしめ擾きて社會の綱紀を紛交する虞ある點より考察するときは遺憾ながら離婚を許容せず

貨付停止

北京天津上海等各地に於て……中法銀行奉天支店は營業……ならざる由なれば到底其の……

學校から社會へ
新卒業生の賣口
中には素晴しい景氣も動く

財界不況に多少累られた色もあるが……るらしい校長は語る『本年度の卒業生は木工の家具科三、金工の板金科一、鍛工科二の都合六人です未だ就職口は確定しませんが何時でも一人に三八人こ云ふた具合で

娘一人に聟八人

簡易工業學校業生 於義洞普通學校內の同校は立派な技術者職工を造り上げる目的の簡易な工業學校で茲の卒業生は李王職の美術製作所や京城電氣會社其他銀房などで働いてるが何れも評判が善い主として鮮人子弟の教養のみであつたが本年度の新入生からは內地人子弟も收用する計畫がある

多過ぎて 困る位です只今在學生は十五名ですが本年度は一年生約四十名を募集して大擴張を實行したい考へで當局こ目下打合中です先づ家具科生が一番多い見込です

就職した
悉く銀行會社で
善隣商業卒業生

龍山に在る同校は背景に大倉男爵を持ち校長こして運動家の田代先生がある丈に堅實な校風を見せてゐる。**本年度の** 卒業生は一部四十三人・二部二十四人で新入學生募集は兩部共に各六十人なることで田代校長は語る『一二部共に卒業生は全部就職口が定まつてゐます一部は鮮銀、殖銀、商銀、漢城、漢一等の各銀行で二部は銀行やら滿鐵スタンダードこ云つた會社です

財界不況 の影響の關係で採用申込が三四倍こ云ふ昨年の景氣は有りませんが然し既に幸ひに賣切です』

紀元節

赤十字朝鮮本部 にては來る十一日紀元節當日午前九時半より十一時迄同事務所に御眞影を奉安し一般社員の拜賀を受くる由、服裝男子はフロツクコート、紋付羽織袴、女子は白襟紋服、朝鮮人社員は相當禮裝のこと

京城府廳 二月十一日紀元節につき當日午前九時府廳本館階上に於て御眞影を奉安し拜賀式を行ふべきが次第順序は午前九時三十分府廳高等官判任官公立學校職員代表者及び府協議會議員等の拜賀式を終つて一般民の拜賀をなす順序である

京城神社 京城神社にては當日早旦御社殿を裝飾し奉りて午前十時金光宮司以下奉仕し嚴かなる祭典を執行し後宮中並に神宮御殿を遙拜すべし當日は一般參拜者も定めし多かるべし

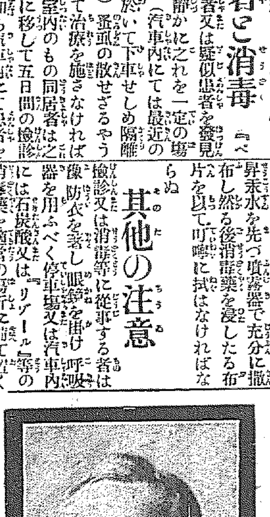
強盜は悉逮捕した
警察では市民の不安を除くため
全力を擧げて活動して居る

近來京城府內に強盜被害頻々こ傳へられ時は噂を生んで京城の一部人士間には不安に堪へられないこ云ふの說を爲すものもあるが當局は一月末以來銳意檢擧に努め頗る好成績を擧げつゝあるのは事實である右に關して道第三部今野保安課長は語る『一月廿二日以來本月五日朝までに龍山町二丁目米穀商洪淳益方を始めこして十八件の被害がありましたが

幸にして 天佑か僥倖か被害者又は隣家より機敏に屆出がありました爲め現場で直に逮捕したり又は偵察隊の捜査の結果に依り檢擧しましたので今回頻發の強盜は全部借金拂ひを致しましたのみならず昨年十月中の

舊借金を も檢擧し得ました別紙の被害及び檢擧の表を御覽に入れませう今回の豫防警戒及檢擧に關しては府內各署の司法主任會議を開き活動方法を考究し各署に於ける張り込み隊密行隊偵察隊の活躍で非常の好成績を得てゐます即ち一月二十二日から二月五日までに被害件數十八件ありましたが全部逮捕して居ります

近藤男
九日逝去



日本郵船會社社長男爵近藤廉平氏は既報の如く去る三十日來重患に罹り療養中の所尿毒症を併發し容態漸次危險に趣き九日に至りて俄然病變あり午後二時市ケ谷佐內町の自邸にて終に逝去したり享年七十四歲急報に接し伊東郵船副社長加藤正義關塚磨戶水寬人等の諸氏駆け付け同邸は大混雜を呈したり（東京電報）

略歷 君は德島縣平民近藤玄泉の二男にして嘉永元年十一月二十五日を以て生れ明治十四年十二月大叔父源兵衛の絶家を再興せり夙に慶應義塾に學び後ち日本郵船會社に入り漸次累進して副社長となる同二十七年征淸の役起るや吉川社長を輔佐して大に軍事輸送に盡瘁し平定後功を以て勳四等に敍し旭日小綬章を賜はる萃二郎氏の後を襲ふて其社長となり日露戰役の際又軍事輸送に力め功により同四十年勳二等に陞敍し旭日重光章を賜はり同四十年八月勳功に依り特旨を以て華族に列し男爵を授けらる方今日本郵船株式會社々長外前揭諸會社の重役を兼ぬ家族は二女八重子（明一八、八生）は和歌山縣士族濱口擔に嫁し長女榮子（同二七、二生）は徳島縣士族橋本久太郎長男敬之に四女靖子（同一八、一二生）は東京府士族大久保利武に（同二七、二生）は岡山縣平民藤森忠一郎弟雄平に嫁せり（東京市牛込區市谷田町一の八電話番町四七二）

齋藤課長狙撃犯人
懲役五年の判決言渡

昨年九月八日外務省通商局第一課長齋藤良衛氏を狙撃して重傷を負はせた西山瑳六に對し九日午前十一時半東京地方裁判所刑事第一部に於て鵜野澤裁判長より懲役五ケ年に處する旨言ひ渡しあり同人は直に控訴の申立をなしたり（東京電報）

旅費に窮した暗殺團
平壤署で目玉

平壤府籍岸里金敬錫（一七）同館後里池奉善（一九）同巡警里金應準（一八）同館後里金仁德（一七）平安南道安州郡安州邑安元德の五名は西間島に渡り爆彈及ピストルを受取り歸鮮して內鮮警察官を殺害せんこ計畫し昨年七月金仁燮及金敬錫、安元德の三人は新義州を經て支那寬甸縣三道溝に入り込みたるも旅費に窮し本年一月金は平壤に歸來したることを平壤署に探知して何れも平壤署に同署取調の上嚴重訓誡を加へて父兄に下渡されたり

石合戰取締
三部から各署へ通達

朝鮮在來の遊戯こして正月の石合戰は盛なもので時には數千の群集が相對抗して壯烈なる石合戰を行ひ死者をすら出す場合もあるが死者は其部落こして葬送するこ云ふ風習である此石合戰は壯烈であるこ同時に蠻味を帶びてゐるので警察犯處罰令では嚴重に取締がある然るに最近各地で石合戰が屢行はれ警察官の制止を肯んぜざる程の隆盛を見つゝあるので京畿道第三部では近く石合戰に對し嚴重に取締るべき旨の通達を管內各署に達した

泥に塗れた髑髏
りゐの首ではない

九日午後五時長堀川住友の本邸前にて一小學生が泥に塗れた髑髏を發見取調の結果女の首こ推定されしも六反池事件以來今に現れぬ問題のりゐの首には非ずこ決定したるも一時は非常の大混雜を呈したり

◎二月十一日夜七時半　於京城公會堂
大講演會
朝鮮靈化運動
朝鮮の靈化こ其背景　渡瀬常吉
吾人の理想こ朝鮮の將來　柳一宣
靈界の開拓　松本正寬
主催　日本組合教會　朝鮮傳道本部

兎狩 總督府在仕の團體たる行條會にては今十一日午前九時半より景福宮裏山にて兎狩を催す由

◎自轉車を拾ふ 本月七日府內獨立門通でラーヂ自轉車一臺を拾得西大門署に屆出である心當の者は同署に申出でよこ

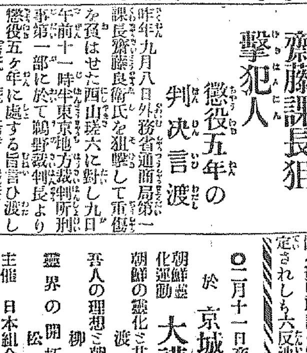
演藝 ▲喜樂館 十一日より左の悲劇、活劇、實錄物の三大映畫こ差替へて公開 ▲實寫『戰の舟』▲ニコ〳〵活劇『田舍の神のお伴』▲新派悲劇『暮れ行く海』全五卷 ▲冒險活劇『ルスの冒險』全三十一卷の內第七第八編 ▲實錄『石童丸』全七卷右の內『石童丸』は當地に於ける筑前琵琶界の名手に彈奏を委囑する筈なれば苅萱道心こ石童丸が哀別離苦に泣く高野山の場面なごして一層哀れを催さしむるであらう

明治大學校友會
來る十三日午後四時より京城ホテルに於て校友會開催致候に付會員及び故者の御來會を希望す會費金參圓五十錢當日御持參の事
申込所　常任幹事　高橋章之助　電話二五六番
同　小川勝平　電話四[illegible]番

各種印材販賣　ゴム印　諸印章　附屬品
京城府本町一丁目　千代田號　電話九八七番　九八九番

京城本町一丁目郵便局横　中村眼鏡店　電話二一七番　振替京城三四一番

セキズイ
脊髓病者の福音　完成せる新療法
是迄醫師にかゝり又あらゆる療法や藥劑を用ひて治らない脊髓病者は一度當研究所の新療法に就き御相談下さい最も親切に御教へ致します　ハガキで申込あれ
兵庫縣明石市中町　脊髓病藥日本一　太平堂製藥所



アドラ目藥
アドラ　高峰博士發見のアドリナリンを主藥とす
結膜炎　充血　濾胞性結膜炎　疲勞目　トラホーム　其他一切の眼病に効あり
（全國藥店にあり）

珍畫肉布團
一見忽ち勞苦を忘る・近來稀有の……艶姿、嬌態、情味津々、肉慾挑發　最新式札形極上紙質優麗無比　花印特製十五枚一組……
東京神田區新川橋畔　花中社

御會葬御禮
二月十日　高田愛吉　親戚一同

本會幹事添三次氏豫テ病氣ノ處療養不被爲叶二月九日午前九時遂ニ逝去被致候間此段謹告候也
朝鮮運輸聯合會

京日案內
度量衡器販賣修理　京城府南山漢江通六番地三角地　伊藤商行　電話六四三番
外務監督名採用　希望者ハ履歷書送レ面會日通知　南山町三丁目　大正生命
毛皮なめし並ニ製造　京城西小門內　紀州商會　京城本町五丁目八　毛皮商　永松商店　電話二五八八番
觀相　石龍子先生直傳　酒井秀吉　京城本町五丁目　電話二一一番
電話買入タシ　京城本町二丁目　正直屋洋品店
事務員入用　櫻井町二丁目　新田株式店
急募集　特約店販賣員
電話正確　公正社出張所
社員數名募集
旅館女中至急入用　京城西大門二丁目　……旅館
ひきがへる　何程に限らず御買受ます御持參下さる方は　京城南山町一ノ八　我部

慶安太平記

第九十六席　小金井芦洲講演

傳『ウム』夫れではもう一遍駿府へ戻らうか　甚『冗談言つちやア不可ねいや、マア/\好うございます、俗にいふ過ちの功名といふ奴で、急ぐ旅なら却て斯うなつた方が都合が好い、川越人足を起した所で容易に起きちや呉れませぬ、此方へ來つしやいまし　甚『ごこへ往くのだ　甚『ナニね私は折々人足の起きねえ内に此處を通ることがございます、安倍川の淺瀨は手に取るやうに心得て居りますから、水の中をボチャ/\渡つてしまひませう　傳『馬鹿なことばかり言やるがつて、此の大きな河が渡れるものか、淺瀨もあらうけれども眞ン中へ往つて見ろ深くて押し流されてしまふ　甚『大丈夫、鯨のやうに能く心得て居りやす、此方へ入らつしやいまし』二三丁上手の所へ無理に傳達を連れて來て、自分だけ褌をクルリと捲くるとザブ/\ザブ/\中へ這入つて往く　甚『アーツ、此處だ/\、確かに此處で間違ひッこはねえ　傳『危ないぞ　甚『大丈夫でげす』また戻つて來ると、悉皆着て居た衣類を脫いで雨掛の中へ押し込んで、其雨掛を頭の上に乘せて　甚『少しお待ちなすつて下せえまし、今向ふ河岸へ荷物を置いて參りますから　傳『モウ少し待て、川越人足が起てからにしろ、俺は人足が臺でなければ渡らんぞ　甚『へ、意氣地のねいことばかり仰しやつて、眞個にお前さん軀幹は大きいけれども膽つ魂が無いね、爲渡置いて來てから旦那をお渡し申しますから　傳『よせば好いのにな、ア、這入つて往きやアがつたザブ/\　傳『危ないぞ、流されると大變だぞ　甚『大丈夫でございますつたら確かなものです』と忽ち向ふ岸へ雨掛を置いて戻つて來た　甚『サア旦那、肩車で渡して差上げますから……　傳『飛んだことを言へ、貴樣のやうなチッほけな男に俺が肩車をしたら潰れてしまふ　甚『アハ冗談言つちやア不可ませぬ、山椒は小粒でもヒリ/\と辛い、然んな意氣地のねいのとは違ふんです、サ乘んなせいまし　傳『左樣か潰れはせんかな　甚『確かなもので、ホラヨー甚兵衛が屈んで首を差出して、傳達が衣類の裾を捲くり上げた間へ突つ込んでグイとなつた　甚『オットく\夫れぢやア私が目隱しをされちまふ、歩くのに見當が付きやせん、もう少し上を、　傳『成る程貴樣はどうも力持があるな、大力　甚『大力だつて、お前さんの二人や三人擔げねいで何うなるものではございません』ザブ/\ザブ/\と淺瀨を渡つては洲に上がり、愈々本流の深い所へ這入つて來た　甚『へツ、ヘ、御出家樣どうです、追々東が白んで來ましたぜ　傳『然うだな　甚『何が好い心持ちだつて此の夜明方の心持位良いものはございませんね　傳『全くだな、此處邊が一番深さうだな　甚『エ、一番深い所で御覽なせいまし、紺靑のやうな色をした水がゴウ/\と流れる此物凄さ　傳『氣味が悪いな、何故然う立止まつて居るのだ　甚『扨て御出家樣へ、是れからが俺の世界でげす』と甚兵衛は凄い目で睨上げました。されば傳達は不思議さうな顔をして　傳『何んだ甚兵衛是れからが俺の世界とは……　甚『へゝゝもう斯うなればお前さんを此の大川の深みへ放り込んで、荷物に背負つた二千兩の金子を此方へお貰ひ申すんだ　傳『ナゝゝ何んだと、どうも怪しいと思つて居たが……俺は……まて/\金の事は話合にもなるからまア向ふに渡して、命だけは助けて呉れ』傳達も深みの眞ン中の事故くなつて叫んだ

將棋新手合(四)

初段披露會席上　於京城白水高橋賢之助氏

飛香落　七段▲溝呂木光治(京城)　初段△秋吉富太郎(京城)

(續け前號指了迄の局面)　△持駒　秋吉氏桂歩四

▲七七桂(ト)　△八五歩　△八九飛　▲八四桂　△六三歩(チ)　▲七六歩　△七八金　▲七七歩ナル　△同角　▲六六桂　△同銀スグ　▲同歩　△同角　▲五五歩　△六二歩ナル　▲五四銀　△四六桂　▲五六歩(リ)　△三三角ナル　▲五七歩ナル　△同玉　▲三三桂　△六一角　▲九二玉(以下次號)

溝呂木七段講評

△(ト)七七桂打ち惡し八九飛八五歩七八金にて充分なり

▲(チ)六三歩打ち味あり

▲(リ)五六歩の突出し急激なり此處六五銀と逃げる處なりし

▲私は總督府にて少しばかりの俸給をもつてゐるものでありますが目下獨身生活をして居ます處が深山の人がゐるので何か物事を少し勉强でもせんと思ふ仲々骨が折れます何處か家族的にやつてくれる所に入れてもらひたいものです望は三疊乃至六疊の一室で良いのであります一ケ月三十圓以內のまかない料を差拂ひ致します(獨身者)▲南大門通り引込線路の標準時計あまり上で通行人にはよく見えません故に下の方になさつたら如何且時間を正確に願ひます(一通行人)▲私は紺類等の勝負を致したいのです日夜暇であるから自宅にて引續き内職になる樣な仕事がありましたらさせてもらひたい最も出勤は御斷りします(代書生)▲十七歳位の者の中山の柔道家持ちの方は御座いませんか、わけて下さる御方が御座いましたら本欄まで御知せ下さいすぐ參りますから(仁川柔道狂)▲へボ公會も必用仁川の面目を更にすべきだが仁川にかゝる第一なるものは解氷と同時に道路下水の改修が在て貰ひたい百姓の眞に錦の塔に釣合ぬ少しは頭を拾つてもらひたいがナ(大目玉生)▲さしみ樣此の度『虛栄』なる雜誌が發行されましたの見まして婦人で居ますござゝいたらぬものですが今後何分御指導下さいませおさしつかへなければお手數ながら本欄まで御住所御知らせ下さいお願ひ致します(市内寵子)

廣告

山野氏の寄附

▲山本正彦氏　今回鈴木商店釜山出張所主任山本正彦氏は下の關支店へ轉任となる

たるが今回同社を辭し七日夕發安奉線列車にて歸東の途に就けり

▲王農商總長　王農商總長は六日

▲刑事課員會出席者　總督府に於て二月十日より開催する刑事

たんせきぜんそくの特効藥龍角散

たんせき　ぜんそく

油斷大敵、たんせき、ぜんそくは一寸の油斷から肺炎、肋膜炎、肺結核に變症する、されば輕い重い苦しいたんせき、固痰のぜんそく、流行風のせき、肺病せき、又は頑是ない子供の百日せき、はしかせきの時は何を措いても

龍角散

枯痰劑咳藥として名高い龍角散を直ぐ服用せよ必ず治る

左の人服むべし

◎たんにて常に惱む人◎ぜんそくにて息切れの人◎せきて眠れぬ人◎はやりかぜの咳◎肺病のたんせき◎たん臭氣ある人◎聲のかれ　咽喉のいたみ◎百日ぜき　麻疹せき

藥價　二日分二十錢　三日分三十錢　一週間分五十錢　二週間分九十錢　五週間分二圓　八週間分三圓

東京神田豐島町　本舖藥劑師　藤井得三郎　電話神田九二一　振替東京九一　各藥店にあり

(兒童保健相談所)　イケダ小兒內科病院　池田季雄　京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目　電話(病院二二三四番　自宅二〇〇〇番)

流山都　尺八發賣　尺八通信販賣　普律完全　合山選

流山都　尺八指南　規則書進呈ス　京城旭町一丁目二目ノ出湯小路　佐藤令山

內科　小兒科　京城永樂町一丁目(商品陳列館前)　村上病院　電話六一〇番　院長　醫學士　村上龍藏

資本金貳百萬圓　諸積立金四十七萬參千圓

京城府南大門通一丁目十九番地　株式會社朝鮮商業銀行　電話長五九八番・五五〇番・三〇七番　長六八一番　振替京城一六三四番

銀行長　趙鎭泰　支配人　岩崎虎次郎

京城南大門支店・同本町支店・同東大門支店・仁川支店・平壤支店・群山支店・利川支店　內地、朝鮮、東洲、青島、哈爾賓、上海、滿洲の各地に爲替御取引の便有之候

製品種目　福助朱子足袋　福助紺足袋　福助日キヤラコ　福助ベッチン　福助コールテン　學生足袋

裏を御覧

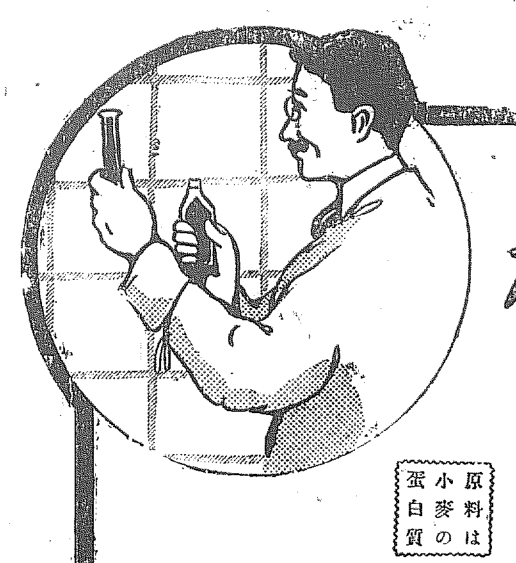
そして中を御覧！眼に見えぬ處まで行き屆かせた技術は他の足袋が眞似の出來ない點です。穿いて心地よく、あたゝかく、恰好のよいのも、全く不思議ではありません

名實共に日本一

福助足袋

福助足袋株式會社

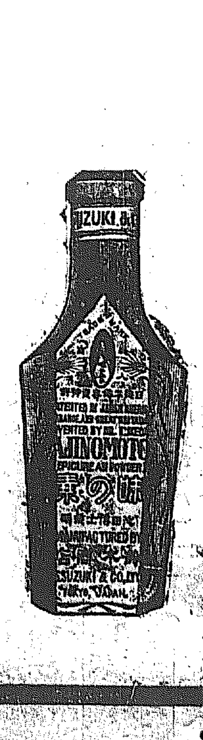
化學の力



他の天産物を其の儘製造した調味料は年の豐凶や産地の異同に依つて夫々味を含んでゐる割合が違ひますから目方丈を當にして御買になるとトンダ目に會ひますが味の素はドレモコレモ品質が一定して居ます故安心して買へますそして形は小さくともノビがきゝます故他の調味料に比較して至極安いものです

原料は小麥の蛋白質

味の素



子供印　本舖　鈴木商店

至る所の食料品乾物店藥店にあり

東拓移民改正
新に五町歩移民を募集

東拓の朝鮮移住民は從來第一種（自作移民（二町歩貸附））第二種（地主移民（十町歩同））に分ち夫れ〻收容中なりしが大正十年度募集の第十二回より從來の制度を廢し新に五町歩の地主移民を收容する事となり來たる三月頃より募集に着手する豫定の由尚本年度の募集戸數は約三百五十戸なりと

改正の趣旨
村上東拓參事の談

之れまで自作移民と地主移民とを收容してゐたが自作移民多數を招致する事は結局鮮人小作者の剝奪即ち **移作權の** 關係上地元の鮮人に面白くない感情と利害を及ぼすし又地主移民に十町歩を貸附譲渡する事は少しく土地の狀況に適せざる事情あるため **双方共に廢止し新に五町歩の移民を收容する事になった** 右に就て從來移住してゐる自作移民中本年より二町を五町に殖やされたやうに解してゐる向もあるやうに聞くが夫れは誤りで新な五町歩移民は從來の十町歩移民と略同樣の資格を要するのである即ち資格は農學校の卒業程度準備金は **四五千圓** 見當を要し土地代金の四分の一を即納して貰ふ事になつてゐる即ち換言すれば自作移民を廢し地主移民に附與する土地を減じたと云ふ事になる云々

京取總會
信託會社株式引受の件可決

京城現株取引市場臨時總會は十日午後二時より京城公會堂に開催株主出席卅五名釘本現株社長他株主諸氏、進、鮎、芳林の各重役出席し議案「信託會社設立に際し株式引受の件」を附議す株主近藤氏より

信託會社 の經營をなさざる可らざる理由及び損失の場合に於ける重役の責任如何との質議あり之に對し釘本氏は株の引受なき故信託會社の株を引受るにあらず又信託會社は現物市場の機關として必要であり且利益であると信ずる近藤氏は株式には經驗ある故同感と信ずる損失の場合には重役に於て責任を帶ぶかとの質問に對しては責任は負はず願くば發起人を信用して戴たいと答へ次に信託會社と現物市場との關係に就き又直取引に就き近藤氏より質問あり釘本氏は直取引は信託會社なる機關なければ出來ぬそれで

現株市場 に於ても信託會社の設立により直取引は出來るものと信じて居る次に株主高橋氏より定款第二條第四項たる京城現物取引市場に成立したる賣買の受渡に關する有價證券及金錢の融通なる事項に關聯して相場の急迫し賣買兩者對立した場合際信託會社の賣買數が信託會社に貸せる株數以上に達したる場合は往々弊害を生ずる虞あり右に就き信託會社と市場の關係に就き說明を乞ふ

釘本氏は 至極御尤もの質問なり株のなき場合は取引所信託會社仲買人の三者の委員に依て何日迄は受渡しを待つと云ふことを公平に極めるのである又先刻近藤氏に答へた直等の相場用語は京城では使用したくない翌日渡しと稱ふることは差支ない向信託會社に責任ある株以上に賣買ありたる場合に就き高橋氏より例を引きて說明を求め釘本議長は右樣な時は場合によりて停止をすることもあるが信託會社の責任株は極秘のものである更に賣買見積り五千株は多きに過ぎずとの質問に對しては釘本氏より五千株はおろか

一萬でも 出來する見込みと云ひ質疑應答の末信託株牛敗まで市場にて引受け得る事に決定三時半散會せり

信託株割當
京城證券

信託會社株の京取市場引受け十日の臨時總會にて決定せしを以て信託創立事務所にては十二日より株式の割當をなすべく一方京取仲買人組合にても引受株を買出すべしと

株式三品好勢

金融の緩慢に加ふるに十日は米棉銀塊高を入れたるため株式は引續き好勢にて十日前場大阪定期大株百三十圓を拔き鐘紡は二百八十圓臺に乘り其の他の諸株概して上伸し三品市場亦活躍せり

鮮銀株暴騰

一割配當決定に似ず鮮銀株は久しく不振なりしが頃日來逐日好調を呈し十日東京現株は親株百三十八圓新四十八圓と前日に比し六七圓方暴騰したり

產調會要望
全鮮會議所大會

商業會議所にては現時の朝鮮產業狀況に鑑み產業調査會開設を其筋に要望の件につき來る三月二十日頃全鮮商業會議所聯合大會を開催する運びなりと

共進會 出品勸誘

京城商業會議所主催の下に來る五月京城公會堂に開催さるべき生產品評會に就ては既報せるが其後着々諸般の準備進捗し十日付にて京城及び始興郡、高陽郡等に於て酒類、清涼飲料、醬油諸織物、諸機械家具類其他を取扱ふ製造販賣人約三百名に出品勸誘狀を發送せり

小賣値段問題
會議所調査

諸物價は最近に至りて愈其低落の傾向顯著なるものあるも其低價は依然として多く卸值段にして小賣商品市價は依然として

當時の高値 を維持する現狀なるを以て昨今唱へらるゝ小賣値段引下の要ありとなす說には至極理由ある所なるが京城商業會議所に於ても豫て本問題の調査を遂げ最も公正妥當なる小賣值段の鑑定の基礎をなすべき卸值段に相當手數料を加算せる値段を小賣段として可なるか何處に置くが至當なるか換言せば內地各方面主要地に於ける市役所商業會議所の意見をも徵したるが其回答の多くは

確然たる 斷案を得難きものゝ如く其理由としては現時財界の動搖期に於て物品によりて投げ賣りをなしたる後引續き生產をなさゞる等の品は所謂需給關係に支配せられ小賣商品の値下を實行し難き事情を誘致するものあらんと云ふ

三電合同成立

此程來日本水力木曾川電氣大阪送電の三社合併談成立し手續中なりしが九日夜木曾川電氣工場長野縣外十縣に亘る水力權の讓り渡し許可遞信省より大阪府廳に到達直に交附せり（大阪特電）

東拓果樹園 廢止

鎭南浦に於ける東拓經營の果樹園は多年同社にて直營し來れるが來る三月限り都合上直營を廢止し同社にては果樹園を滿室園等の集團小作に附する事となり尚は理想的につき優良なる小作部落を建設する計畫なりと

財界閑話

近藤廉平男逝く八十近い高齡年には遺憾はない▲明治二十九年來の郵船會社々長であり海運界では功績の多い人だ▲現今日本郵船の業務執行には社內多士濟々必ずしも男を要しないであらう▲然し乍らその多年の勢力は同社にとつて缺くべからざるものもあつたらしい▲會社としては損失だらうが會社その物を悲觀するには當らぬ▲慶應がて〳〵で幾度か退社のうわさも出たが遂に死ぬまで離さなかつたわけだ▲株式好勢どうやら本調子になつて來たやうである▲然し乍ら一般財界としては尚ほ整理時代で輕々に樂觀を許さぬ▲ドコまで株式の伸力があるかは疑問だがソロ〳〵恐慌發端の一周年に近づくから▲頭を擡る時序と見てもよからうか▲證券信託も良い時節に生れる譯である

株式

現株市場出來値（十日）

銘柄		前場 今週中	前場 來週中	後場 今週中	後場 來週中
京取	寄	二五·六〇	二三·六〇	…	二三·六〇
	引	六〇	六〇	…	…
殖新	寄	一六·七〇	一六·六〇	一六·八〇	一六·九〇
	引	七〇	七〇	九〇	…
東拓新	寄	…	…	一八·四〇	…
	引	…	…	…	…
東新	寄	二七·一〇	一七·〇〇	二七·一〇	二七·一〇
	引	…	一〇	…	一〇
仁取	寄	一六〇·五〇	…	一六一·〇〇	…
	引	…	…	…	…
鮮銀	寄	一三〇·五〇	一三五·五〇	一三三·一〇	一三七·一〇
	引	五〇	五〇	…	八·〇〇
同新	寄	四六·〇〇	…	四七·〇〇	…
	引	六〇·〇〇	…	…	…
殖銀	寄	五五·〇〇	…	五六·〇〇	…
	引	…	…	…	…
商銀	寄	九·三〇	…	九·七〇	一〇·〇〇
	引	五〇	…	一〇·〇〇	三〇
貸銀	寄	四〇·九〇	…	四〇·九〇	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	二一·七〇	…	二一·七〇	…
	引	…	…	…	…
韓銀	寄	三四·五〇	三四·三〇	三四·五〇	…
	引	…	五〇	…	…
同新	寄	九·九〇	…	九·四〇	…
	引	…	…	…	…
棉銀	寄	三三·五〇	…	三三·〇〇	…
	引	…	…	…	…
東拓	寄	六〇·一〇	…	六一·二〇	…
	引	…	…	…	…
鮮土	寄	一一·〇〇	…	一一·〇〇	…
	引	…	…	…	…
朝紡	寄	一九·四〇	…	一九·五〇	一九·五〇
	引	…	…	六〇	六〇
滿毛	寄	一六·二〇	…	…	一六·七〇
	引	四〇	…	…	…
京電	寄	四六·七〇	…	四六·五〇	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	三〇·四〇	…	三一·〇〇	…
	引	…	…	…	…
實興	寄	八·六〇	…	八·六〇	…
	引	…	…	…	…
東運	寄	五八·八〇	…	五八·八〇	…
	引	八〇	…	七〇	…
朝燐	寄	四一·〇〇	…	四一·〇〇	…
	引	一·〇〇	…	…	…
朝紙	寄	三七·四〇	…	三七·四〇	…
	引	…	…	…	…
朝郵	寄	…	…	三一·九〇	…
	引	…	…	…	…
殖鐵	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
中鐵	寄	四〇·〇〇	…	三八·〇〇	…
	引	…	…	…	…
滿鐵	寄	一二五·〇〇	…	…	…
	引	七·五〇	…	…	…
同新	寄	五五·〇〇	…	五五·〇〇	…
	引	…	…	…	…

乙ノ部

銘柄		前場 今週中	前場 來週中	後場 今週中	後場 來週中
安取	寄	一九·八〇	一九·八〇	五〇·四〇	五〇·六〇
	引	五〇·〇〇	五〇·四〇	…	四〇
大新	寄	八三·〇〇	八三·〇〇	…	八三·六〇
	引	三·四〇	三·七〇	…	四·三〇
新東	寄	八九·八〇	八九·六〇	…	…
	引	…	…	…	…
上取	寄	八〇·五〇	八〇·六〇	八〇·〇〇	…
	引	…	…	…	…

東京現株

銘柄	十日前場	九日後場
鮮銀	一三七·〇〇	…
同新	四八·〇〇	…
東拓	五九·〇〇	…
同新	一八·〇〇	…
滿鐵	一一八·〇〇	…
同新	二八·〇〇	…
殖銀	五七·〇〇	不
同新	一八·〇〇	…
東株	一三五·〇〇	著
同新	九一·〇〇	…
建取	三八·〇〇	…
滿毛	一六·三〇	…
朝紡	一九·五〇	…
日物	九六·〇〇	…

大阪株式

銘柄	十日前場寄付	九日後場大引
大株	一三二·九〇	一三一·五〇
同新	八四·九〇	八三·一〇
郵船	一四五·六〇	一四二·九〇
同新	五五·六〇	五三·〇〇
商船	二六·九〇	六五·〇〇
同新	六二·〇〇	…
鐘紡	二八〇·五〇	二七八·〇〇
同新	一三六·〇〇	一三六·〇〇
東紡	一三〇·五〇	一二六·〇〇
東糖	八五·〇〇	八四·〇〇
上取	八〇·八〇	七八·五〇

銘柄	十日前場大引	十日後場寄付
大株	一八五·〇〇	…
同新	四六·〇〇	一三四·〇〇
郵船	一四五·〇〇	八四·九〇
同新	五八·〇〇	…
商船	二七·四〇	二七·〇〇
同新	六七·〇〇	一七六·九〇
鐘紡	二七五·九〇	…
同新	一五九·九〇	…
東紡	一三九·〇〇	…
東糖	八三·〇〇	…
上取	八二·一〇	八二·六〇

大連株式

○九日	寄付	止め
建取先當	三四·一〇 三五·二〇	三五·二〇 三六·〇〇
滿鐵	…	…
同新	…	…

前場は活況

今朝は昨後場來の內地誘盛高に人氣沸騰氣味を呈し多少にても內地相場に左右さるゝ株式は一齊に上向き場面頗る緊張したり即ち京取三圓六十錢と焦付きたるも殖新今週二十錢

鮮銀 今週は續いて五十錢高の百三十四圓五十錢來週は百三十四圓に **二圓方の急騰を** 演じ **新株** 亦今週 **一圓五十錢** 高となり

東拓舊一圓高 殖銀五十錢高殖銀三十錢高 **滿鐵は** 新株 **二圓五十錢方の躍進となり** 鮮土五十錢七十錢高を示し諸株活況を呈せり

後場も好勢

後場鮮銀の續騰を初め內地主力株の好勢維持に場面の **買人氣は前場に劣らず** 即ち仁取五十錢高 鮮銀今週百三十三圓六十錢 **二圓六十錢方** 續騰し來週二十七圓七十錢より八圓と飛び **五十錢方急騰** 今週十圓より二十錢三十錢四十錢五十錢ともあつて三十錢と引け盛なるを示し八十錢高となり東拓亦 **一圓十錢** 方崩れ京電新六十錢高を示し **中鐵は二圓方崩れたり**

市況色めく

久しく沈滯し切りたる株界も棉紡銀塊の引返し模樣に先つ紡績さなり今朝の鐘紡は二百三百圓臺を現なりし鮮銀滿鐵の如き堅實株亦二三乃至五六圓方の奔騰を見せ更に大新東新上取の如き內地物も一圓五十錢乃至三圓幅の飛躍を演じ尚は安取の如きも一圓內外の値上りなせし處に場面の股盛なり乍らも漸く色めき立ちたる觀あり

大新戰熾烈

大新は今朝大阪寄付八十四圓五十錢に對して今週八十二圓五十錢より三圓五十錢さ昂騰し來週八十三圓より四圓の高値ありて三圓七十錢と引け其間別項の如き歩み値を示して强弱の思惑戰熾烈を極めたり然る當地の人氣は七十圓見當を主張すると三圓以上は極力賣りを主張する所に前日來既に大新高見越の內報來々付くや一時を一段の奔騰を演じたるが今朝の高移りに聊か意外の面持ちあり多弱の氣筋の警戒を强めたる模樣であり何れも日標たる八十三圓を突破したる以上此の暴騰を演ずべしとの氣構へ濃厚さなり押つて突込賣りを危ぶまるゝに至れり

安取引返す

安取は前日途に奮闘れを演じ今週十八圓五十錢の安値を觀いて十九圓三十錢を云ひたるが今朝は內地株の暴騰に刺戟されて今來週共に二十圓臺に引返し今週二十圓ド々來週二十圓五十錢と復活せり

鮮銀益暴騰

鮮銀株は最近急速の昂騰を續け昨內地の舊株百三十一圓に對し當地は三十圓五十錢と伴廢し新株四十七圓に對し六圓返貿上げ五十錢至本日東京入電は更に百三十七圓と六圓方の奔騰を移し新株四十八圓と入れたり

滿鐵株好勢

滿鐵は舊株の百十四五圓新株二十四圓處に久しく保合ひたるが前日來內地筋の買入り込み殊に今朝の東京現株は舊株百十八圓新株二十八圓と入れたるより當地も遂かに買人氣さなり寄付百十五圓より大引七圓五十錢と二圓五十錢高を示し新株亦七十錢方上伸せり

前場ノ乙部

今朝は內地の暴騰を移して前日迄の不況に陥りたる安取も人氣を持直し今週十九圓五十錢さ寄付八十錢九十錢と擡し來週二十錢に寄付きて二十圓を出直りしに二の廻り更に引返して二十圓一錢

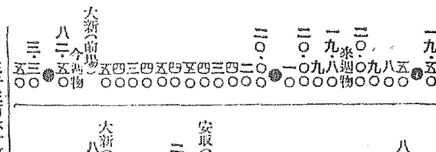
後場ノ乙部

大引五十錢と乘せ後場は內地の活躍に低に恢復せり▲大新は內地の保合を示し前場又前二の廻り二圓七十錢買氣沸騰して今週八十二圓五十錢よりに四十錢高に寄付き二の廻り三圓引直し一圓四十錢高を示し來週は結局五十錢の高値は昇る四十錢に寄りしが前場の高値は警戒に寄り四圓七十錢より三十錢さ弛み二の廻り八十錢に至り七十錢と引け▲上取今週八十錢と高値を七十九圓八十錢▲上取今週八十圓七十錢二圓五十九圓九十錢二圓八十五十五錢高を示せり

後場ノ乙部

後場は安取今來週共に二十圓四十錢と保合ひ▲大新來週六十錢高の八十四圓三十錢▲上取今週八十二圓と續騰せり

主要株歩ミ値段



兜町だより

累計 乙 甲 出來高 三十二百六十萬五千三百 十四萬九千百二十四枚

米國では我が網絲物に對し四割五分の從價特別稅が賦課案が議會に提出され若しそれが通過するとなると我が網絲物界に大打擊を與ふることは論を俟たない斯うして國內の產業を庇護し外國品の輸入を阻止する政策は唯り米國許りでなく世界各國が此種の自己防衛の政策に捉はれ海外市場を失墜した我が產業界の輸出前途は寒心すべきものがあり是等を考へる時貿易の前途は甚だ暗澹たるものがある▲然し斯る悲觀材料續出に拘らず株界の戀愛は一般に旺盛にして財界は昨今の高値に對しても人氣を加へつゝある▲事業家が妄りに悲觀するも市場は株式に照して最早一時の大恐慌期を脫して所謂投資時代さして落着いて來たかに見ゆる▲今日の暴騰は一部の思惑によるものにあらず內地投資家の買越が多く之れを見ても最早逆境は去りつゝあると見ねばならぬ▲殊に最も人氣を集めて居たモスリン株の頭打ちで甚だ感心しない

米況（十日）

仁川期米 前場閑散

前日阪地安の剝り下に追隨し場面は今朝も相變らず正米の手堅き移りから十二氣持ちの立會は當前寄合先二十一圓十錢より一圓七十六錢と二十五錢に先七十錢前場の保合ひに寄付きたる乍ら依然たる保合ひに寄付き二圓に三十錢さ下追りせしが押目は透さず買方の手堅き好め又十錢返し▲第二節當中上に十錢の安値に先七十錢と張り▲第三節阪地の後場に二節共に下押し七十八錢の二十五錢と保合ひ▲第四節當限來ず中八十錢先七十八錢の二十錢と小堅く寄止めに引▲第五節四錢と保合ひ▲第六節當限來ず中七十六錢先七十七錢▲大阪暴落二十錢より七十八錢の二十五錢と先七十九錢より七十八錢と持合ひに大引せり

愈々立往生

正米の强硬と產地賣惜みの折柄入氣は漸次に其成功に牽引せられさうとする擬合ひが一時に行つて買方に近く押出し來る人氣の商期でないと斷ち斷然仁川の期米は六十斤目の見込が最近迄大戰終熄後の景氣界事情が然かく容易に米價の大勢を逆轉する前途の買人氣は正米の高値を維持して相場の賣方は遂に此の價格を以て買方に挑みつゝ昨今强硬なる界況の觀は自ら見通しつゝ界の如きは勝手に反つて百圓の大勢を維持し行くものと見る向きあり漸く市場の現況は今後の如何を問はず定期市場の成行に一抹の不安を感ずるに至るものゝ如し

變節季あんじ

株式漲落の暴落を受けたる結果として世上農家の窮迫著しきが如く喧きを煽り一般の低落觀は漸く資金の需要案外に少くて通貨の膨脹なく其實にはしても産業界の不振の如き地方の米穀は漸く地方融通資金の需要少なき現狀なれば此の時の勢あるも過ぎさる有樣に之れを以て各地に過剩の資金を以て內地米の持ち越す有樣になるも米價も保たれる可し而して其の持久にし難し以て遂に持たれてしまふ時期に至るや否やが今後の對米の持久に就いての見解なり

仁川期米 福（商標）

內地米と需給

大正九年度內地米の收穫は既報の如く六千三百萬三千五十萬石なりしが之れを標準として大正十年度の需給關係を觀れば前記收穫に持越高三千萬石を加へ外に朝鮮米移入高三百萬石臺灣米八十萬石外國米五十萬石を加へ合計七千二百九十五萬石の供給力を有し之れに對する消費高は人口五千五百九十六萬人にて一人一石一斗の割合にて六千百五十五萬三千石と見て一石七斗なりと之に酒造用米三百萬石菓子工業用百萬石合計六千九百七萬石を控除して前記供給高より之れを差引時は三百八十八萬石の過剩を來す譯なり

賣買差引尻

賣方 累九〇〇▲金二〇〇▲永一三〇〇▲九一一〇〇▲三引一〇〇▲北九四〇〇 又九二〇〇〇
買方 ○七〇〇▲福一三〇〇

京城正米市場

各地區々から多くは不變安值と銘柄の不伸釘付狀態の際なれば玆許持合ひ中にも軟調を帶び居れり見當さしては三等合格二十一圓二十錢地摺上玄十九圓七十錢地十八圓八十錢處なり

移出白米行悩へ

下關三十錢安（大阪變らず入電なり）

內地正米續落の影響は一時大阪神帯の二十六圓五十錢處迄賣邁まれたる白米も內地正米の引弛みると共に商談行悩への姿となれり昨前記値頃の模樣によれば直輸なれば尙料手海の折拂注文に應じ難く又先積又は先方にて買はず眼先何さなく面白からざる形勢なり

內地正米安
東京四十錢

內地正米續報今朝は左の如く軟調を見るなり

京城延取引

玄米

現物の無商內に人氣沮喪を告げ地方入電は先安二十五錢仁川丸キ印合格二十一圓二十錢處安は仁川著の二十一圓見當を突張り居れるに反し平澤模樣を移し各地區々の成行さにありて氣迷ひ益々深く賣買共に依然見送られ例に依りて各期無商內に終りしが引跡三月中限二十一圓六十三錢と前手合ひ持合ひに出來し百石の附出しを見たり

大豆

昨日來減切買氣衰へ來りしもの如く今朝は長滿物仁川著の十一圓四十錢安州物產地乘り九圓九十錢處の賣腰あり然し買人不氣乘りにて更に出來ず一般見送り氣配を示し氣配二十錢安の見當なり

後場又立疎

▲第一節 當中出來ず先六十六錢と▲第二節 當中出來ず先六十九錢より八錢と押し九錢引公定六十九錢▲第三節 當中出來ず先七十錢より七十錢引公定七十錢▲第四節 當中出來ず先七十六錢より五錢と押し公定七十五錢

期米雜觀

肝心の正米から直りかけた相場だもんで是が何んと云ふても今度丈け買い一途にて二十一圓八十錢揃みが付いたまでは好いが阪地で同じ氣好く飛び付いた揚句みにブヨツイて居てさうなる皮肉なのが阪地にソロツイて居れるがだしも逆に五十錢留へ轉げ込ればまだしも聯かでもしない處を見せつけられ二十五圓八十錢揃みにソロツイて居たのだから買ふても聯か擴であらう▲さ云もふて買つて買ふても此頃の相場は怖ひ慌てた相が大きいと云ふのだから買方も遣らせせずに▲之れて買つら遲調に撥げられもせず▲之れで買方の理想通り正米がズン〳〵と直つ

仁川米豆取引所仲買人
㊣ 仲買店
仁川海岸町
電話二八一・長二八三番

仁川米豆取引所仲買人
那須仲買店
海岸通三丁目
電話長三三一、七六三
電略（○二）又八（二）

精白氣强し

精白米は內地氣配不味を傳へありと雖原料薄と商運關係によりて更に騰張く市中卸値は最高二十四圓七十錢と變らさるも安賣筋は漸次減少し引締め最低四圓二十錢處を唱へ居れり

仁川正米

定期は仲買みの爲め賣氣を阻止しつゝあり正米又阪地注文面白からざるも押目買狙ひにて逈入多く自然人氣を盛返し三等合格二十二圓二十錢地摺玄米二十圓二十三錢見當なるも賣惜するもの少なし

釜山正米 二十錢安

今朝市場は內地市場の安を入れ一二十錢安の三等砂力二十一圓五十錢乃至二十二圓三十錢所にて三千叺の商ひありたり大豆は十圓六十五錢所にて二百叺けがりの商ひなりたり（十日）

群山正米

二月末限二十一圓六十二錢三月中限一圓八十八錢より七十錢現物一圓五十錢さ前日同樣保合ひ居れるも賣行き頗る不良なり（十日）

東京期米

○十日前場先限	寄付	後場先限
一節	二五·五九	二五·五〇
二節	二五·六〇	二五·五九
三節	二五·五九	二五·五六
四節	二五·五〇	二五·六〇
當限止め	二十六圓五十錢	二十五圓九十錢

大阪期米

○十日前場	前場	後場
當寄	二六·一二	二六·一二
止め	二五·一〇	二五·二一
中寄	二五·八六	二五·八九
止め	二五·九〇	二五·九四
先寄	二五·六三	二五·五四
二節	二五·六六	二五·五六
三節	二五·六三	二五·六〇
四節	二五·六六	二五·六〇
五節	二五·五九	二五·六五
六節	二五·六〇	二五·六九
七節	二五·五八	…
八節	二五·六〇	…

下關期米

	前場	後場
四節	六六	…
五節	五九	…
六節	六〇	六〇
七節	五八	六五
八節	五九	六九
九節	五九	…
止め	…	…

各地期米

○十日前場	寄付	止め	後場 寄付	止め
當限	…	三一·九	…	…
中限	…	三五·二	…	…
先限	三五·〇	三五·一〇	三五·九八	…

○九日後場止め		
東京	二五·六九	大阪 二五·六〇
兵庫	二五·八二	下關
桑名	…	名古屋
熊本	…	金澤

大阪三品

倫敦銀塊相場三十七片と二分の一方品騰を告げ米棉同事持合なり

○十日前場寄付		前場大引
二月限	二五四·〇〇	二五一·〇〇
三月限	二五八·八〇	二五六·〇〇
四月限	二六〇·七〇	二五九·五〇
五月限	二六一·〇〇	二五九·〇〇
六月限	二六〇·〇〇	二五九·〇〇
七月限	二六〇·五〇	二五三·五〇

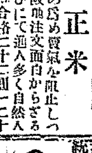
○九日後場寄付		後場大引
二月限	二四九·一〇	…
三月限	二五三·一〇	…
四月限	二五五·七〇	…
五月限	二五九·九〇	…
六月限	二五九·二〇	…
七月限	二六〇·〇〇	…

廣告

○鮮銀券日報　九日現在左の如し
發行高　一〇一、八四八、三〇七
正貨準備　五二、四八二、一〇四
限外發行

○日銀報尻　八月現在左の如し
發行高　一、一六九、三八六
正貨準備　一、一六九、三八六
發行保力　一二〇、〇〇〇
作出高　一二一、四九六

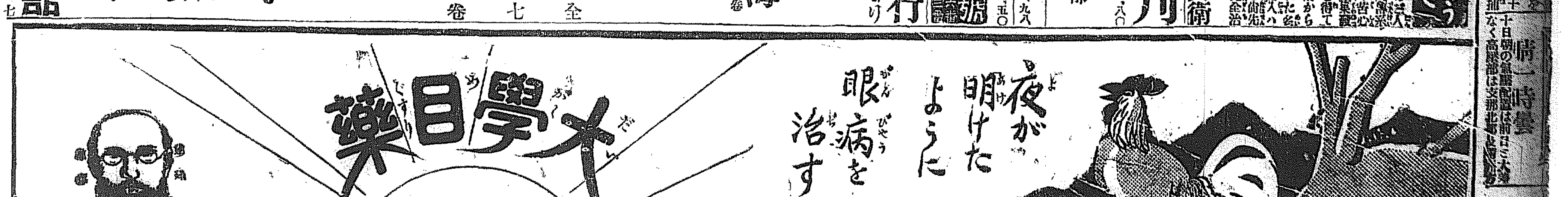
○京阪金利　七日現在左の如し　東京　大阪
コール　一、〇　九、〇
無條件　一、〇
翌日物　一、〇
六十日物　一、四、〇
普通割引歩合　二、五、〇



余が家は祖父及び父と母の三人とも同病にて困惑したる遺傳病系統にして其悲しき實驗より苦心の結果發明の中風藥を新聞紙に登錄されたる名藥を有する良藥を同病患者の方に詳報し尚先着一千人限り名士題字の完全治療法書を無代進呈す
町石南出明石郡 加古忠兵衛

最新刊
朝鮮語學史 小倉進平著 三·八〇
地上の第三部 島田清次郎著 何囘來てもスグ賣切れる 今度こそ持樣に行き渡るでせう
それからそれ 坪內逍遙新著 一·九八
語及の爲に 小倉進平 三·五〇
京城本町一丁目 大阪屋號 振替京城二〇八六番 電話本局一二五七番

特別大興行 常る十一日晝間より
封切三映畫 日活東京撮影所傑作 新派悲劇
暮れ行く海 全五卷
松之助革新劇 實錄
石童丸 全七卷
筑前琵琶名手彈奏
○最も興味ある新連續寫眞
第四本町一
ルスの冒險
○フリスコワンニ ○無記名證券
日活直營 喜樂館 電五九七



曙（あけぼの）

德田秋聲 作 / 近藤紫雲 畫

第六十五回

争闘 (4)

お篠は、到頭打突かる物に打突かつたと思つた。辰衛に然う詰問されるやうに言はれた時に、胸がどきりとした。遂に其事が言ひ出されたと云ふ氣がした。勿論、白井とのことを言はれる段になると、昔の事が話題になるだらうとは思つてゐた。其事を訊かれるだらうとは彼女も微想してゐた。しかし、それを言ひ出されるとお篠も返辭のしようがないし、話の相手にもなり難いので、成らうことなら其事から話を外らさうくと努めてゐたのであるが、それは遂に徒勞に歸したのだつた。

『はい、それはあのう、以前白井さんがお嬢さまのお家へ居らしたものでございますから……』

お篠は仕方がないと云つたやうな顔付で、簡單に然う應へた。

『お前は其時分のことを好く知つてるだらう？』と、辰衛はお篠の顔色から何か探り出さなければ措かないと云つたやうに、鋭い視線を投げるのだつた。

『好くと申しましても、私も一所に居りましたものでございますから……』

『絢のお父さんは、白井を大分信用してゐたらしいね。將來夫婦にさすやうな仲だつたのぢやないか』辰衛の質問は、益々追及的であつた。お篠は愈困つてしまつた。何と答へて可いか判らなかつた。しかし、無論絢子と白井がどんな深い仲であつたか知らないが、夫婦にするやうな話はなかつたことだけは、知つてゐるのであつた。

『いゝえ。そんなことは決してございませんでしたわ。何誰が旦那さまに然う申し上げたか存じませんけれど、さう云ふことはお家ではお噺もなかつたのでございますよ。それは、そのう旦那さまのお思ひ違ひでございませう。きつと』

『何年くらゐ、あの白井は山村にゐたんだい』

辰衛は話題を元へ戻して行つた。

『さあ』と、お篠は小頸を傾けて『何年くらゐでしたでせう？好く覺えませんわ』

『其後、白井から絢さんの所へ結婚を申込んで來やしなかつたかね』

『いゝえ』然う言つて、お篠は俯向いた。

お篠は一々受應へをするのが煩さくなつた。馬鹿々々しいとさへ思ふ氣がして來た。幾ら主人でも、餘り拗いと思つた。これが主人だからだが、外の人だつたら、最う相手になつてゐないのだ、とさへお篠は心に思つた。

勿論、絢子が度々白井と親しげに散歩と出たりしたのは、人の妻として餘り慎み深い態度だとは、お篠も思はなかつた。世間の口が煩さいから、二度に一度は辭退すれば好いにと思はぬでもなかつた。殊にお須磨が不意に遣つて來た朝なぞは、丁度絢子が白井と出かけて行つた後だつたので、彼女は獨りで氣を揉んでゐたのだつた。而も折惡しく絢子は白井と連れ立つて歸つて來たので、お篠は最う其時から今日あるを思つたのだつた。何か持上らねば可いがと、私かに心配したのであつたが、案の如く、お須磨が大分辰衛の心をそゝつてゐるらしいので、あの時の事が今新しくお篠の胸に思ひ出されたのだつた。

しかし、外の人ではなし、白井とは昔から兄妹のやうにしてゐた絢子のことであるし、五年振りの邂逅であれば、一所に散歩するぐらゐは何でもないとお篠は思つた。寧ろ當然だと云ふ氣がした。假令其人から手紙が來たところで、何もそれを事々しく取上げることはあるまいとさへ思つた。而もそれを以て、妻の貞操まで疑ふとは辰衛も紳士らしくない人だと、お篠は多少主人を輕蔑むやうな氣にさへなつた。

『だが、しかしお前も絢と同じ穴の狢だからなあ。こんなことを訊くだけが野暮だらう』辰衛は吐出すやうに言つて、憎々しげにお篠を睨んだ。

『まあ』お篠は最うそれ以上何にも言はなかつた。其時隣室に寝てゐた貞子が、目を覺したやうなので、お篠はそれを機に立つた。そして、貞子を抱上げると、彼女は辰衛に默つてそつと部屋を出て行つた。絢子を見に行つたのである。

皮徽科 (診察夜九時迄)
皮膚 徽毒 (入院隨意)
京城明治町二丁目 佐藤醫院 電話一壹七参

新刊紹介

▲大陸自由評論(一月) 國境警戒政策(藤堂社長)、京城府政の革新(宮本天風)、食糧政策の根本義(河田修士)、鐵道政策(京城太平)其他有益記事豊富 (京城太平通二丁目社)

▲電氣旬報(二月一日) 六錢 大阪東區 電界社

▲科日新聞(二月) 五錢 東京外池 發兌社

日報詞苑

‖投稿歡迎‖

△和歌 題隨意
△俳句 同
△川柳 題不定期發表
△情歌 題『澄』
△制限 各題共五首…五句以內
△締切 毎土曜日
△用紙 葉書に限る
△宛名 京城日報社日報詞苑

早春吟 大正一〇、一、二三 雛子郎選

○

石炭 春樹

石炭のはぢき燃ゆ音を聞き居たり

湯豆腐 草絲

湯豆腐に雪夜の窓を開けにけり

○

春淺し

艀舟醉ひに螢の陽眩ぶし淺き春 蝸牛洞

頰や凍て闇迫る春淺し 春樹

○

馬車の幌はねて早春の旭の並木 雛子郎

小鳥馴れて病室の窓の淺き春

二月十二日

(舊曆正月五日) ▲土曜日 ▲丙午 ▲七赤 ▲暗劍西方 ▲大安 ▲胃宿 ▲定

▼七赤▲平らかならぬ日不時の損失あり諸事内輪に行うて無難
▼八白▲新らしき事も常の事も意の儘に運ぶ進み甲斐あるべし
▼九紫▲無鐵砲の事あり用心した上にも用心せざれば損を招く
▼一白▲實直にして長上の引立を受くべし女子の獨立を圖る妙
▼二黑▲面白く華やかな日開店吉
▼三碧▲意に逆らふ事ある日新しき企て凶女は禮儀を守るべし
▼四綠▲利に疎く德を失ひ且動もせば紛亂を醸す日自重が第一
▼五黄▲幸運盛大の日起業移轉等は素より縁組結婚吉
▼六白▲萬事至つて順よく運ぶべき日新しき取引にも利益あり

二月十三日

(舊曆正月六日) ▲日曜日 ▲丁未 ▲八白 ▲暗劍 ▲赤口 ▲昴宿 ▲執

▼八白▲急いでは蹟き落ちけば拾ひ物あるべき日新しき事見合
▼九紫▲喜び事多き日自ら妄動を愼まば何事によらず上々首尾
▼一白▲一言誤らば財物恐く身を離れんとす凶日愼みが肝腎
▼二黑▲倦怠の日起業開店求職其他面白からざるも落事は平調
▼三碧▲氣に喰はぬ問題あり油斷ならぬ日喧嘩の仲間入を戒む
▼四綠▲氣ばかり急いて事の進まざる日新しき計畫見合せて利
▼五黄▲恩が却つて仇となる大に自重すべき日世話事一切禁物
▼六白▲品行を謹みて存外の吉事廻る日新しき企て事利益あり
▼七赤▲運氣盛んにして何事も大よし逡巡はず進んで利を占む

關釜連絡船

釜山發 朝七、五〇 夕八、三〇

十一日	朝、壹岐丸	夕、高麗丸
十二日	朝、對馬丸	夕、新羅丸
十三日	朝、壹岐丸	夕、高麗丸
十四日	朝、對馬丸	夕、新羅丸

演藝案內

黄金館 黄金町 電話二六三七
△當る二月十日より特撰映畫公開 △米國西部ソールウエーの風景 △喜劇 △村の中 △五郎一派
喧嘩屋五郎兵衛 全五巻 武士の魂と武士の一分、旗本の爭籍に紛した俠客嘩 手始めの安い寳り喧嘩の引受所を今日が逢引の面へ洗つて出直せ 大活劇

世界の眼 全四巻 連日大好評の世界の眼 原名沈默の秘密も愈々最後の解決篇となりました ギルマス慘殺の眞の犯人は何者ケリー 探偵大奮鬪の犯人を苦しめたる正體不明の 探偵秘密の力、テキケッサリ受サリー 野仙太郎、秋ヶ谷彌一座

濱千鳥 全六巻 新派大悲劇 家名のみを重じ他を返り見ざる主婦 可憐なる乙女の純なる戀に生きんとする 代議士小杉家に起る大悲劇 姉妹の身を思ふ妹の誠心
日曜祭日一日十五日晝夜二回開館

大正館 黄金町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
當る十一日紀元節より三大映畫提供
○實寫 河々欲從ふ家庭 長尺
○喜劇 大きな赤ちやん 全二巻
新派大悲劇 俠藝者 全六巻 春日井仁三郎の大活悲劇 日活東京派山本、藤野、一派出演
江戸生粋の俠藝者さ半生は波亂曲折の大活悲劇 日活東京派 世界的大傑作品
▲大連續大怪慘劇 第四回 呪の家 第七、八編四巻上場 第七編黴菌の迫害、第八編未だ不明の秘密 惡魔の化身か憎惡の權化か 人の呪の手は愈出て愈辛辣此世の怪事とも思はれず
▲舊劇 水戸三郎丸 全六巻 日活第二部尾上松之助市川姉藏封切映畫 御三家の筆頭天下の副將軍水戸家の姉藏一派の三郎丸は豪傑併日奈彌太郎を引き連れ近來の大奮闘四國九州六十餘州の津々浦々を廻國す 姉藏の大努力大作品
十一日は紀元節に付晝夜二回開演 毎月一日十五日、日曜祭日晝夜開館
○入場料特に普通

喜樂館 本町一丁目 電話五九七番 館主改
當る十一日より三大映畫封切
○實寫 ニコ／＼活劇出雲の神のお休 二巻
新派悲劇 暮れ行く海 全五巻 日活東京撮影所大傑作 原作者は阪田重則氏にして東京撮影部が新派の技巧を盡して漸く完成せる最も興味ある一大映畫なり
○伊太利 米國パテー會社特作品
冒險活劇 ルスの冒險 全卅一巻の内 第四回 第七篇 フリスコファン三 第八篇 無記名證券
日活京都派第一部 尾上松之助革新劇 新作品 競業合戰
石童丸 全七巻 貫録一世の英傑加藤左衛門重氏の菩薩道心さる可憐なる石童丸が高野の山にてげに哀別離苦を心弱くも血涙に流しがる當家再興す勇壯無比の大寫眞は當地に於ける前代未聞の… 手頃の料金にて御覧に供し候

壽館 本町一丁目 電話七八五
御待兼ねの京阪女優大歌舞伎 寳會女團一行 七日目替狂言
前 傾城誠今紫太夫
切 義士傳 堀部安兵衛東下りの大切 餘興 女優手踊 鴨綠江節 踊出發 名物安來節

浪花館 明治町 電話一六〇番
二月二日より開演 三遊亭若遊三、橘家勝太郎合同一行 三遊亭圓治、三遊亭吉笑、橘亭笑三、三遊亭圓遊、柳枝、橘家勝太郎、桂珍治、三遊亭若遊三

浪花座 本町五丁目電車終點 電話三三八番
大阪歌舞伎河内家一座
前 加賀見山 故郷の錦・金幕
中 勸進帳 安宅ノ關 十八番
切 戀飛脚 大和往来 梅川忠兵衛 封印切

せきすい
同病にて手足ツリ腰足不隨腰肩脊筋痛みシビレ等に効能正しき御薬有 切手封入申込次第詳報 兵庫縣 市三番町元木

十一日書り 古今無双の豪傑

副將軍光圀卿の落胤・無祿大名の天下横行

水戸三郎丸

姉藏一派の大奮闘豪壯にして快活・奇にして怪

大連續 冒險怪劇

第四回

呪の家

二十編四十一巻

第七篇 黴菌の迫害
第八篇 未だ不明の秘密
惡魔の化身？ 憎惡の權化？

俠藝者

春日井仁三郎と

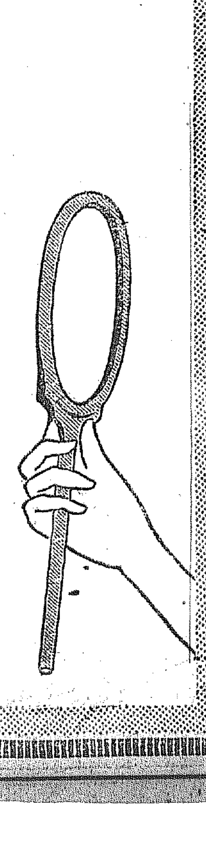
三大寫眞 大提供

大正館

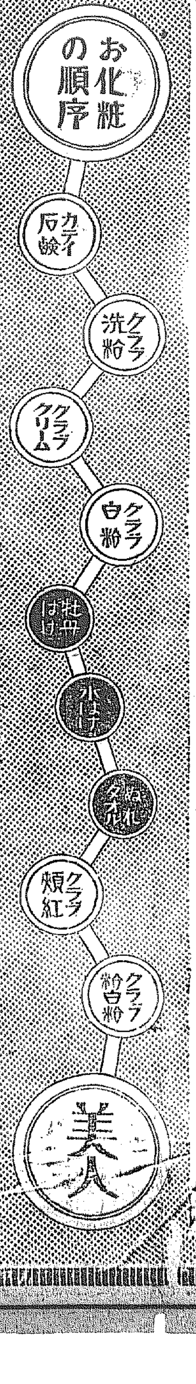
顔のアレぬ

カテイ石鹸

中山太陽堂技師ウエンライト氏の四十余年の尊き經驗から生れた世界的純良石鹸



生地の美を増す石鹸
花の香身に沁む石鹸



高尚で美しい

クラブ白粉

お化粧上手の方は好んでクラブ白粉を愛用せられます

脂肪性の方にも荒性の方にも、肌理の細かい方にも粗い方にも、一様に美しくついて、何ともいへぬ高尚な氣品を添へるのがクラブ白粉の一大特長で厶います。